

# 2022国際ロボット展

INTERNATIONAL ROBOT EXHIBITION 2022

結果報告書 (リアル会場)

ロボットがつなぐ人に優しい社会



© UDAGAWA YASUHIITO 1998

**会期** 2022年  
**3月9日(水)**  
**~12日(土)**  
10:00~17:00

**会場** 東京ビッグサイト  
東1~8 / 西3・4ホール

**主催**  一般社団法人 日本ロボット工業会  
Japan Robot Association  
 日刊工業新聞社

50<sup>th</sup>  
ANNIVERSARY

# CONTENTS

結果報告	2
テープカットセレモニー	3
併催事業	4
併催企画	16
会場図面	18
出展者一覧	26
来場者アンケート集計結果	28
プレス来場リスト	30
主な報道一覧	31
主な広報・PR活動一覧	32
告知広告／PRツール	34
企画特集（日刊工業新聞）	35
掲載記事（日刊工業新聞）	36
オンラインサイト	38
会場風景	39

関係者各位

謹 啓

ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度は「2022国際ロボット展」の開催にあたりまして、格別のご支援、ご協力を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。おかげ様をもちまして、2022年3月9日(水)～12日(土)の4日間の会期で、無事閉幕しましたことをここに報告いたします。

今年は、過去最大規模であった前回2019年を更に上回る615社・団体、3,227小間での開催となりました。これもひとえに、ご出展者各位、ご支援をいただいた関係官庁並びに産業諸団体、関係学会のご協力によるものと、主催者といたしまして深く感謝申し上げます。

なお、本展開催中の模様につきまして、日刊工業新聞紙上などで報道しましたが、ここにその結果をまとめてご報告いたします。

今後とも関係各位のご支援、ご協力のほどお願い申し上げます。

謹 白

2022年4月

一般社団法人 日本ロボット工業会  
日刊工業新聞社

# 結果報告

## ■名 称

2022国際ロボット展 [ INTERNATIONAL ROBOT EXHIBITION 2022 ]

## ■テ ー マ

ロボットがつなぐ人に優しい社会

## ■開催趣旨

国内外における産業用・サービス用ロボットおよび関連機器を一堂に集めて展示し、利用技術の向上と市場の開拓に貢献し、ロボットの市場創出と産業技術の振興に寄与する。

## ■会期・会場

2022年(令和4年)3月9日(水)～12日(土) 10:00～17:00  
東京ビッグサイト 東1～8、西3・4ホール

## ■主 催

一般社団法人 日本ロボット工業会、日刊工業新聞社

## ■後 援

経済産業省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省、総務省、文部科学省、日本商工会議所、  
新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)、日本貿易振興機構(JETRO)、日本放送協会(NHK)

[法人格略・順不同]

## ■協 賛

計測自動制御学会、情報通信ネットワーク産業協会、製造科学技術センター、全日本プラスチック製品工業連合会、テクノエイド協会、日本アミューズメントマシン協会、日本機械工業連合会、日本金属プレス工業協会、日本クリーン環境推進機構、日本建設機械工業会、日本建設機械施工協会、日本工作機械工業会、日本産業機械工業会、日本自動車工業会、日本自動車部品工業会、日本食品機械工業会、日本鍛圧機械工業会、日本鉄鋼協会、日本電気計測器工業会、日本電機工業会、日本電気制御機器工業会、日本塗装工業会、日本半導体製造装置協会、日本福祉用具供給協会、日本福祉用具・生活支援用具協会、日本物流システム機器協会、日本フルードパワー工業会、日本ベルト工業会、日本防錆技術協会、日本包装機械工業会、日本溶接協会、日本ロボット学会、マイクロマシンセンター、ロボット革命・産業IoTイニシアティブ協議会

[法人格略・五十音順]

## ■入場料

1,000円 ※入場登録者、中学生以下は無料



## ■開催規模

出展者数	<b>615社・団体</b>	(637社・団体)
出展小間数	<b>3,227小間</b>	(3,060小間)

(前回2019年実績)

- うち海外出展者数 15カ国・地域 49社・団体 228小間  
(前回：16カ国・地域 95社・団体 389小間)

## ■来場者数

日付	天候	来場者数 (前回2019年実績)
3月9日(水)	曇りのち晴れ	11,902名 (31,939名)
3月10日(木)	晴れ	15,469名 (37,068名)
3月11日(金)	晴れ	22,050名 (42,697名)
3月12日(土)	晴れ	12,967名 (29,429名)
<b>合計</b>		<b>62,388名 (141,133名)</b>

- うち海外来場者数 37カ国・地域 770名 (前回：64カ国・地域 7,308名)

## ■併催企画

- ・「第9回ロボット大賞」受賞ロボット合同展示
- ・体験企画「つくる☆さわれる国際ロボット展」
- ・World Robot Summit 特別企画

## ■同時開催展

国際宇宙産業展、グッドファクトリーショップ、KOKOKARA Fair (主催：日刊工業新聞社)

# ■ テープカットセレモニー

日時：2022年3月9日(水) 9:50～10:00

会場：東京ビッグサイト 東5ホール前

### テープカット出席者：

日本ロボット工業会 会長

2022国際ロボット展 運営委員長

日本部品供給装置工業会 会長

日本物流システム機器協会 会長

日刊工業新聞社 代表取締役社長

小笠原 浩 氏

山口 賢治 氏

堀本 英文 氏

下代 博 氏

井水 治博



# ■ 併催事業

## iREXロボットフォーラム2022 ～社会が求めるロボット、そして変わる社会～

日時 3月9日(水) 13:00～16:30

会場 東京ビッグサイト  
西3ホール内ステージA

日英同時通訳

主催：日本ロボット工業会、日刊工業新聞社

### 第一部

HCI (FA・ロボットシステムインテグレータ協会) 代表取締役社長 (副会長)  
清水建設 ロボット・ICT開発センター長 専務執行役員  
ABB President, Robotics Division  
KUKA Robotics Chief Sales Officer

奥山 剛旭 氏  
印藤 正裕 氏  
マーク・セグーラ 氏  
ミハエル・オットー 氏

### 第二部

川崎重工業 精密機械・ロボットカンパニーロボットディビジョン長 執行役員  
ファナック 専務執行役員 ロボット事業本部長  
不二越 取締役 技術開発本部長 DX推進担当  
安川電機 代表取締役 専務執行役員 ロボット事業部長

高木 登 氏  
稲葉 清典 氏  
国崎 晃 氏  
小川 昌寛 氏



奥山 剛旭 氏



印藤 正裕 氏



マーク・セグーラ 氏



ミハエル・オットー 氏



高木 登 氏



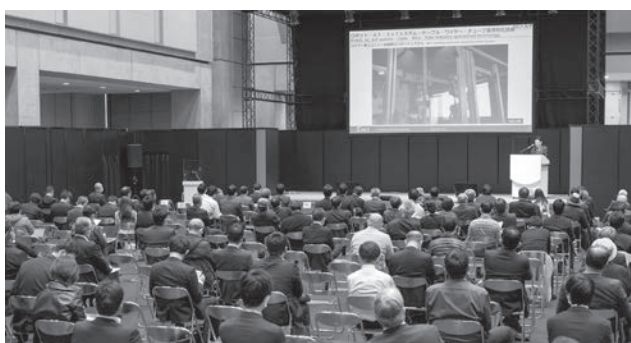
稲葉 清典 氏



国崎 晃 氏



小川 昌寛 氏



# 2025年大阪・関西万博フォーラム ～ロボットやAIが活躍する「いのち輝く未来社会」へ～

日時 3月9日(水) 10:30～12:15

会場 東京ビッグサイト  
西4ホール内ステージB

主催：2025年日本国際博覧会協会、モノづくり日本会議

## 「いのち輝く未来社会を魅せる！大阪・関西万博への誘い」

2025年日本国際博覧会協会 広報戦略局 局長

堺井 啓公 氏

## 「大阪・関西万博とロボット」

大阪・関西万博 テーマ事業プロデューサー／大阪大学 教授／ATR石黒浩特別研究所 客員所長

石黒 浩 氏

## 「愛知万博のロボットプロジェクトと大阪・関西万博での取り組み」

大阪・関西万博 会場運営プロデューサー

石川 勝 氏



堺井 啓公 氏



石黒 浩 氏



石川 勝 氏

# 持続可能な社会の実現と企業価値向上 ～日本企業のアクションを広めよう～

日時 3月9日(水) 13:00～14:30

会場 東京ビッグサイト  
西4ホール内ステージB

主催：ジャパンSDGsアクション推進協議会、モノづくり日本会議

### 基調講演

国際連合工業開発機関 (UNIDO) 東京投資・技術移転促進事務所 所長  
ジャパンSDGsアクション推進協議会 会長

安永 裕幸 氏

蟹江 憲史 氏

### パネルディスカッション

#### ■パネリスト

国際連合工業開発機関 (UNIDO) 東京投資・技術移転促進事務所 所長  
Mujin CEO 兼 共同創業者  
CKD 代表取締役会長  
セイコーエプソン 執行役員 マニュファクチャリングソリューションズ事業部長

安永 裕幸 氏

滝野 一征 氏

梶本 一典 氏

内藤 恵二郎 氏

#### ■モデレータ

日刊工業新聞社 編集局 記者

松木 喬



安永 裕幸 氏



蟹江 憲史 氏



滝野 一征 氏



梶本 一典 氏



内藤 恵二郎 氏

# オープンイノベーションから街づくりへ ～モビリティ変革コンソーシアムの取組み～

日時 3月9日(水) 15:00～16:30

会場 東京ビッグサイト  
西4ホール内ステージB

主催：JR東日本モビリティ変革コンソーシアム

## 「オープンイノベーションから街づくりへ～モビリティ変革コンソーシアムの取組み～」

東日本旅客鉄道 技術イノベーション推進本部 データストラテジー部門 次長 入江 洋 氏

## 「マルチユース型・モビリティ・サービスに関する取組み」

川崎重工業 航空宇宙システムカンパニー 営業本部 ヘリコプタ営業部 担当課長 堀井 知弘 氏

## 「米国における空飛ぶクルマの離発着場（パーティプレイス）のコンセプトと日本の展望 ～空飛ぶクルマの普及に向けて～」

FPV Robotics 代表取締役社長 駒形 政樹 氏

## 「空飛ぶクルマの最新動向と未来の生活・街づくりへの示唆」

デロイトトーマツ コンサルティング 金融事業部 兼 DTST ディレクター 海野 浩三 氏

## 「社会受容性調査から見る『空飛ぶクルマ』の実態と弊社の取組について」

MS&ADインターリスク総研 研究開発本部 新領域開発部 次世代モビリティ室  
マネジャー・上席コンサルタント 千原 崇成 氏



入江 洋 氏



堀井 知弘 氏



駒形 政樹 氏



海野 浩三 氏



千原 崇成 氏

## NEDO Presents

～DeepTechスタートアップの創出や成功に向けた支援の実態と展望～

日時 3月10日(木) 10:30～12:00

会場 東京ビッグサイト  
西4ホール内ステージB

主催：新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）、オープンイノベーション・ベンチャー創造協議会（JOIC）

### ■司会・モデレータ

角川アスキー総合研究所 ASCII STARTUP 北島 幹雄 氏

### ■開会挨拶

## 「NEDOのスタートアップ、オープンイノベーション支援について（紹介）」

NEDO イノベーション推進部 統括主幹 金子 和生 氏

### ■講演

## 「目指せEXIT！気鋭の研究開発型スタートアップが目指すイノベーションと成長の行方」

Rapyuta Robotics 代表取締役CEO Gajamohan Mohanarajah 氏

スカイディスク 代表取締役社長 兼 CEO 内村 安里 氏



## パネルディスカッション

「産業イノベーションの担い手たる研究開発型スタートアップの起業・成長の指針・支援・展望」

### ■モデレータ

角川アスキー総合研究所 ASCII STARTUP

北島 幹雄 氏

### ■パネリスト

NEDO イノベーション推進部 統括主幹

金子 和生 氏

Rapyuta Robotics 代表取締役CEO

Gajamohan Mohanarajah 氏

スカイディスク 代表取締役社長 兼 CEO

内村 安里 氏



北島 幹雄 氏



金子 和生 氏



Gajamohan Mohanarajah 氏



内村 安里 氏

## スマート農業の新たな展開 ～データ活用の加速化に向けた標準の活用～

日時 3月10日(木) 10:45～12:00

会場 東京ビッグサイト  
西3ホール内ステージA

主催：農林水産省、農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）

### 挨拶

農林水産省 農林水産技術会議 事務局長

青山 豊久 氏

### パネルディスカッション

「テーマ①：データ交換の標準化を進めることで期待されること」

「テーマ②：実現に向けて今後取り組むべきこと」

### ■司会

フリーアナウンサー

名越 涼 氏

### ■パネリスト

クボタ 特別技術顧問・工学博士

飯田 聡 氏

一橋大学 イノベーション研究センター 教授

江藤 学 氏

東京大学大学院 農学生命科学研究科 特任教授

二宮 正士 氏

農業情報設計社 代表取締役CEO

濱田 安之 氏

農研機構 農業機械研究部門 知能化農機研究領域 国際標準・土地利用型作業グループ グループ長

元林 浩太 氏



青山 豊久 氏



名越 涼 氏



飯田 聡 氏



江藤 学 氏



二宮 正士 氏



濱田 安之 氏



元林 浩太 氏

# NEDOロボット・AIフォーラム2022

～人とロボットが拓く新たな日常～

日時 3月10日(木) 13:00～15:30

会場 東京ビッグサイト  
西3ホール内ステージA

日英同時通訳

主催：新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)

## 開会挨拶

NEDO 理事

西村 知泰 氏

## 講演

《テーマ》ロボットが届ける新たな日常を目指して

「①遠隔・非対面・非接触での配送サービス実現のための自動走行ロボット開発」

NEDO ロボット・AI部 主査

神山 和人 氏

「②事例紹介:UR団地における、5G/4Gを用いた複数ロボットの遠隔監視・配送実証の実施」

NTTドコモ 第一法人営業部 主査

市原 貴幸 氏

《テーマ》新領域でロボットが活躍する新たな日常を目指して

「①新たな領域での活用を目指した革新的ロボット技術開発」

NEDO ロボット・AI部 専門調査員

竹葉 宏 氏

「②事例紹介：人とロボットの共生社会を目指したROBOCIPの研究プロジェクト紹介」

技術研究組合産業用ロボット次世代基礎技術研究機構 (ROBOCIP) 理事長

榊原 伸介 氏

《テーマ》リモートで活動する新たな日常を目指して

「①AI×リモート技術で、「新たな日常」をあらゆる現場へ」

NEDO ロボット・AI部 主任

柳瀬 大祐 氏

《テーマ》ドローンが飛び交う新たな日常を目指して

「①多数のドローンが飛び交う社会実現に向けたDRESSプロジェクト」

NEDO ロボット・AI部 主任

森 理人 氏

「②事例紹介：KDDIスマートドローン事業戦略及び運航管理システム開発について」

KDDI 事業創造本部 ビジネス開発部 ドローン事業推進グループ マネージャー

杉田 博司 氏

## 総括

「人とロボットが拓く新たな日常を目指したNEDOの取り組み」

NEDO ロボット・AI部長

林 成和 氏



西村 知泰 氏



神山 和人 氏



市原 貴幸 氏



竹葉 宏 氏



榊原 伸介 氏



柳瀬 大祐 氏



森 理人 氏



杉田 博司 氏



林 成和 氏

## 目指すは「業界を超えた共創」 ～JEITA共創プログラムによる新たな市場創出～

日時 3月10日(木) 13:30～14:30

会場 東京ビッグサイト  
西4ホール内ステージB

主催：電子情報技術産業協会 (JEITA)

### 「サプライチェーンにおけるCO<sub>2</sub>排出量見える化活動について」

Green x Digitalコンソーシアム 見える化WG 主査

(日本電気 サステナビリティ推進本部 シニアマネージャー)

稲垣 孝一 氏

### 「5G関連ビジネスの創出に向けた取り組み」

5G利活用型社会デザイン推進コンソーシアム 運営委員会 委員長

(三菱電機 開発本部 通信システムエンジニアリングセンター 担当部長)

長谷川 史樹 氏

### 「光無線技術が拓く新しい水中の世界」

ALANコンソーシアム 代表(トリマティス 代表取締役 CEO)

島田 雄史 氏

### 「JEITA共創プログラムのご紹介」

電子情報技術産業協会 事業戦略本部 市場創生部長

大西 修平 氏



稲垣 孝一 氏



長谷川 史樹 氏



島田 雄史 氏



大西 修平 氏

## SDGs実現型ベンチャーの時代へ ～地域活性化のための共創とアライアンス～

日時 3月10日(木) 15:00～16:15

会場 東京ビッグサイト  
西4ホール内ステージB

主催：日刊工業新聞社

### パネルディスカッション

#### ■パネリスト

リアルテックホールディングス グロースマネージャー/人機一体 取締役

室賀 文治 氏

Andeco 代表取締役社長

早川 慶朗 氏

うつせみテクノ 代表取締役

秋山 大知 氏

東急 フューチャー・デザイン・ラボ 事業創造担当 課長補佐

吉田 浩章 氏

#### ■モデレーター

東京農業大学 特命教授/前農林水産事務次官

末松 広行 氏



室賀 文治 氏



早川 慶朗 氏



秋山 大知 氏



吉田 浩章 氏



末松 広行 氏



# “ロボットフレンドリー”な環境の実現 ～ロボット導入環境のイノベーション～

日時 3月10日(木) 16:00～17:00

会場 東京ビッグサイト  
西3ホール内ステージA

主催：経済産業省

経済産業省 製造産業局 ロボット政策室 室長補佐(総括)

福澤 秀典 氏



福澤 秀典 氏

# 行政による介護ロボットの開発・普及に向けた支援 ～介護ロボットのプラットフォーム事業～

日時 3月11日(金) 10:10～12:30

会場 東京ビッグサイト  
西3ホール内ステージA

主催：厚生労働省

## 第一部

介護ロボットのプラットフォーム事業～介護ロボットの開発・実証・普及を加速する～

「介護現場のテクノロジー開発に関する政策動向」

厚生労働省 老健局 高齢者支援課 介護ロボット政策調整官

山田 士朗 氏

「介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業・ニーズ・シーズマッチング支援事業の紹介」

NTTデータ経営研究所 情報未来イノベーション本部 先端技術戦略ユニット HealthCare Implementationグループ シニアコンサルタント 山内 勇輝 氏

介護ロボットのプラットフォーム事業 成果報告

「横浜市総合リハビリテーションセンター介護ロボット相談窓口の事例報告～開発企業への支援に関して～」

横浜市総合リハビリテーションセンター 地域リハビリテーション部 研究開発課兼地域支援課 担当課長 桑田 哲人 氏

「Future Care Lab in Japanの事例報告 ～介護現場で継続的に活用できる、製品の機能特徴とは～」

SOMPOホールディングス Future Care Lab in Japan R&D 責任者

芳賀 沙織 氏

「ニーズ・シーズマッチング事業の事例報告 ～見守りに関するニーズ相談について～」

大阪人間科学大学 人間科学部 社会福祉学科 准教授

時本 ゆかり 氏

## パネルディスカッション

### ■パネリスト

東京大学大学院 工学系研究科 人工物工学研究センター 特任研究員

本田 幸夫 氏

九州工業大学大学院 生命体工学研究科 教授

柴田 智広 氏

横浜市総合リハビリテーションセンター 副センター長

渡邊 慎一 氏

善光会 理事・最高執行責任者・統括施設局 局長

宮本 隆史 氏

### ■モデレータ

東京大学大学院 工学系研究科 人工物工学研究センター 特任研究員

本田 幸夫 氏

## 第二部

ニーズを捉えた介護機器開発の実際 (NTTデータ経営研究所 特別企画)

■座長：東京大学大学院 工学系研究科 人工物工学研究センター 特任研究員

本田 幸夫 氏

## 「介護業界のDX、テクノロジー活用ニーズの高まり」

善光会 理事・最高執行責任者・統括施設局局长

宮本 隆史 氏

## 「バイオデザイン視点でみた医療・福祉機器開発に失敗しないためのTips」

大阪大学大学院 医学系研究科 重症下肢虚血治療学共同研究講座 特任准教授

／ジャパンバイオデザイン プログラムダイレクター

八木 雅和 氏



山田 士朗 氏



山内 勇輝 氏



桑田 哲人 氏



芳賀 沙織 氏



時本 ゆかり 氏



本田 幸夫 氏



柴田 智広 氏



渡邊 慎一 氏



宮本 隆史 氏



八木 雅和 氏

## 製造業が「脱炭素」を今は始めるべきこれだけの理由

日時 3月11日(金) 10:30~12:00

会場 東京ビッグサイト  
西4ホール内ステージB

主催：みずほ銀行、日刊工業新聞社、モノづくり日本会議

### 開催挨拶

みずほフィナンシャルグループ リテール事業法人カンパニー 副カンパニー長 法人業務部 川原 亮輔 氏

### 基調講演

「グローバルにつながるサプライチェーンへの脱炭素化の波～何が評価されるのか～」

CDP Worldwide-Japan アソシエイト・ディレクター

高瀬 香絵 氏

### パネルディスカッション

#### ■パネリスト

パナソニック 品質・環境本部 環境経営推進部 室長

下野 隆二 氏

ベンダ工業 代表取締役社長

八代 一成 氏

CDP Worldwide-Japan アソシエイト・ディレクター

高瀬 香絵 氏

boost technologies 事業本部セールス部 ジェネラルマネージャー

金子 将人 氏

#### ■モデレータ

みずほフィナンシャルグループ 兼 みずほ銀行 法人業務部 サステナブルビジネス企画チーム 次長

兼 SDGsビジネスデスク デスク長

末吉 光太郎 氏



川原 亮輔 氏



高瀬 香絵 氏



下野 隆二 氏



八代 一成 氏



金子 将人 氏



末吉 光太郎 氏

# ロボットソリューションによる社会変化

日時 3月11日(金) 13:00~15:00

会場 東京ビッグサイト  
西4ホール内ステージB

主催：日刊工業新聞社、モノづくり日本会議

## 第一部

### 「今、求められるロボットとは ~人手を置換える技術~」

THK 常務執行役員 産業機器統括本部IMT事業部 事業部長

星野 京延 氏

THK 産業機器統括本部IMT事業部 ロボット部 部長

北野 斉 氏

カワダロボティクス 取締役 事業統括

白間 直人 氏

## 第二部：パネルディスカッション

### 「ロボットがもたらす物流現場の働き方革命 - “人とロボットが生きる新たなステージ” -」

#### ■パネリスト

オカムラ 物流システム事業本部 執行役員 マーケティング部 部長

山下 佳一 氏

立命館大学 客員教授

新村 猛 氏

パナロジコム 代表取締役社長

田村 嘉啓 氏

#### ■モデレータ

PwCコンサルティング パートナー

三治 信一郎 氏



星野 京延 氏

北野 斉 氏

白間 直人 氏

山下 佳一 氏

新村 猛 氏

田村 嘉啓 氏

三治 信一郎 氏

## World Robot Summit併催 ロボットアイデアコンテスト ~Future Service Design ピッチコンテスト 最終審査会&表彰式~

日時 3月11日(金) 13:30~16:00

会場 東京ビッグサイト  
西3ホール内ステージA

主催：Robot Idea Contest 事務局

■審査委員長：工学院大学 建築学部 教授

鈴木 敏彦 氏

■審査員：World Robot Summit実行委員長

佐藤 知正 氏

中央大学 理工学部 教授

新妻 実保子 氏

筑波大学大学院 システム情報工学研究科 教授

中内 靖 氏

セブン-イレブン・ジャパン オペレーション本部 副総括マネジャー

中橋 佑介 氏

日本政策投資銀行 産業調査部 産業調査ソリューション室 副調査役

植村 佳代 氏

産業技術総合研究所 情報・人間工学領域 インダストリアルCPS研究センター 研究センター長

谷川 民生 氏

World Robot Summit 応援サポーター

杉本 雛乃 氏

■メンター：東京都立大学 システムデザイン学部 准教授

和田 一義 氏

【参加企業】 ヨメテル、Reiko Kitora, Japan、  
アールティ、レーザークック

【受賞チーム】 第1位：レーザークック

第2位：ヨメテル



レーザークック



ヨメテル

## 急拡大する宇宙ビジネス！なぜ今、宇宙なのか

日時 3月12日(土) 10:30~11:20

会場 東京ビッグサイト  
西3ホール内ステージA

日英同時通訳

主催：日刊工業新聞社

インターステラテクノロジズ ファウンダー／実業家 堀江 貴文 氏



堀江 貴文 氏

## LOVOT、タタメルバイク、人型重機の開発者が語る「日本のロボット産業への想い」 ～現状維持バイアスを外し、日本から独創的な産業を興す「楽しい」方法～

日時 3月12日(土) 10:30~12:00

会場 東京ビッグサイト  
西4ホール内ステージB

主催：日刊工業新聞社

### オープニングセッション

「つくる☆さわれる国際ロボット展」アンバサダー／znug design (ツナグデザイン) Creative Communicator CEO 根津孝太  
松山工業 代表取締役社長 鵜久森洋生

### パネルディスカッション

「つくる☆さわれる国際ロボット展」アンバサダー／znug design (ツナグデザイン) Creative Communicator CEO 根津孝太  
人機一体 代表取締役社長 金岡博士  
ICOMA 代表取締役社長 生駒崇光  
松山工業 代表取締役社長 鵜久森洋生



根津孝太



金岡博士



生駒崇光



鵜久森洋生

## 宇宙産業フォーラム

日時 3月12日(土) 13:00~14:30

会場 東京ビッグサイト  
西3ホール内ステージA

日英同時通訳

主催：日刊工業新聞社

### 『NASAの宇宙開発の概要とアルテミス計画について』

NASAアジア支部 アジア担当代表 ガーヴィー・マッキントッシュ氏

### 『共に月へ！月面ロボYAOKIの共創開発』

ダイモン 代表取締役 中島 紳一郎 氏



ガーヴィー・マッキントッシュ氏



中島 紳一郎 氏



# クラウドファンディングとモノづくりベンチャーの最前線

日時 3月12日(土) 13:00~15:05

会場 東京ビッグサイト  
西4ホール内ステージB

主催：FUNDINNO(旧社名:日本クラウドキャピタル)、日刊工業新聞社、モノづくり日本会議

## オープニング講演

### 「資金調達としてのクラウドファンディング」

FUNDINNO (旧社名：日本クラウドキャピタル) 代表取締役COO 大浦 学 氏

## パネルディスカッション

### 「日本におけるモノづくり企業の実態と資金調達面での課題とその打ち手」

#### ■パネリスト

菊池製作所 取締役	乙川 直隆 氏
関西学院大学 教授	加藤 雅俊 氏
経済産業省 経済産業政策局 新規事業創造推進室 室長補佐	皆藤 彰吾 氏
FUNDINNO 代表取締役COO	大浦 学 氏

#### ■MC

経済アナリスト 馬淵 磨理子 氏

## クラウドファンディング利用企業の実態

ダブル技研 代表取締役	和田 博 氏
Hakobot 代表取締役	大山 純 氏
トルビズオン 代表取締役社長	増本 衛 氏



大浦 学 氏



乙川 直隆 氏



加藤 雅俊 氏



皆藤 彰吾 氏



馬淵 磨理子 氏



和田 博 氏



大山 純 氏



増本 衛 氏

## World Robot Summit併催 ロボットアイデアコンテスト ～COBOTTAアイデアチャレンジ表彰式～

日時 3月12日(土) 15:00~16:00

会場 東京ビッグサイト  
西3ホール内ステージA

主催：Robot Idea Contest 事務局

■審査委員長：慶応義塾大学 SFC 環境情報学部 教授	田中 浩也 氏
■審査員：デンソーウェーブ 刈谷事業所 FA・ロボット事業部 ソリューションビジネス推進部 タレント/ソフトウェアエンジニア	澤田 洋祐 氏 池澤 あやか 氏

【受賞チーム】 最優秀賞：愛知工業大学 クレーププロジェクト

優秀賞：早稲田大学 チームDSK

優秀賞：中京大学 ブランコ



愛知工業大学 クレーププロジェクト



早稲田大学 チームDSK



中京大学 ブランコ

## 出展者セミナー

### セミナー会場① (西4ホール内)

日	時間	タイトル	出展者名
9日(水)	10:30~12:30	【併催事業】 規格の壁を越えて設備をつなぎシステムを統合するミドルウェア「ORiN」の活用事例紹介と「ORiN3」の開発について	ORiNフォーラム2022
	13:30~14:10	株式会社人機一体は、どうやって人型重機を社会実装するのか	人機一体
	15:30~16:10	生産性向上の切り札「協働ロボット」なぜ、いま導入すべきなのか	ユニバーサルロボット
10日(木)	10:30~11:10	オンアーム型3Dビジョンロボットにおいて可能性を發揮する	Zivid
	12:30~13:10	ロボットの概念を変える“ロボットと制御の統合”と“デジタル拡張による製造現場DX”	オムロン
	13:30~14:10	システムエンジニアリング力で工場自動化を実現	芝浦機械
	14:30~15:10	産業用ラズパイ最新活用事例～PLC連携からMEMSセンサ+深層学習による予兆診断まで	ハーティング
11日(金)	15:30~16:10	産業用ロボット業界における労働力のデジタルトランスフォーメーション	Librestream
	10:30~11:10	協働系ロボットのマーケティング汎用性とプラスアルファ	Techman Robot
	12:30~13:10	研削・研磨のロボット化「人間の感覚をロボットへ」	愛知産業
	13:30~14:10	材料メーカーが実現する～サステナブルな「人とロボットの協働環境」～	DSMエンジニアリングマテリアルズ
	14:30~15:10	ニコン産業機器製品における、ロボットを活用した検査、測定の実践	ニコン

### セミナー会場② (西4ホール内)

日	時間	タイトル	出展者名
9日(水)	11:30~12:10	英国のNew Spaceセクター	駐日英国大使館 国際通商部
	12:30~13:10	AIビジョンが実現した完全マスターレスの多品種・混載ロボットピッキングと最新ソリューション紹介	OSARO
	13:30~14:10	ラピュタロボティクスが提供する現場で使えるロボティクス	ラピュタロボティクス
	14:30~15:10	Smart encoder solutions for advanced robotics	ハイデンハイン
	15:30~16:10	【併催事業】 福島ロボットテストフィールドとインドローン連盟との連携協定	福島イノベーション・コスト構想推進機構
10日(木)	13:30~14:10	現場効率化の前に打合せの効率化も図れるOCTOPIZZA	ジェービーエムエンジニアリング
	14:30~15:10	ロボットによる多品種少量生産に適したサイクルタイムの早いフレキシブルパーツフィーダー	アジリル
	15:30~16:10	フレキシブル物流がスマート・ファクトリに助力する	Standard Robots
11日(金)	11:30~12:10	マテハン商品連携で実現！物流・生産ラインのオートメーション	椿本チエイン
	12:30~13:10	自律四足歩行ロボットSpotによる現場計測・点検の効率化について	ニコン・トリンプル
	13:30~14:10	ロボットに最適リアルタイムPC制御とその応用事例のご紹介	ベッコフオートメーション
	14:30~15:10	電動アクチュエーターを使えばCO2排出量を80%削減できます	アイエイアイ

### セミナー会場③ (西4ホール内)

日	時間	タイトル	出展者名
9日(水)	11:30~12:10	AI コントロール - 次世代ロボット	KEBA Japan
	12:30~13:10	協働ロボットを使いこなすコツ -導入検討で終わる日本の製造現場-	住友商事マシネックス
	14:30~15:10	exaBase Roboticsが描くロボットの未来	エクサウィザーズ
10日(木)	11:30~12:10	“RoboCross” が提供する継続的な価値あるサービスとは	川崎重工業
	12:30~13:10	ロボティクスで、ものづくりのDXを理想のカタチに	三菱電機
	13:30~14:10	エプソンが取り組むマニュファクチャリングイノベーションとは	エプソン販売/セイコーエプソン
	14:30~15:10	生産現場に変革をもたらす人協働ロボットと最新事例	安川電機
	15:30~16:10	真空搬送から考えるカーボンニュートラル5つの視点と製品の紹介	シュマルツ
11日(金)	11:30~12:10	不二越の最新ロボットと応用技術による自動化取組みの紹介	不二越
	12:30~13:10	Tailored Solutionsの実現に向けたロボット開発への取り組み	ダイヘン
	13:30~14:10	ファナックロボットの最新技術	ファナック



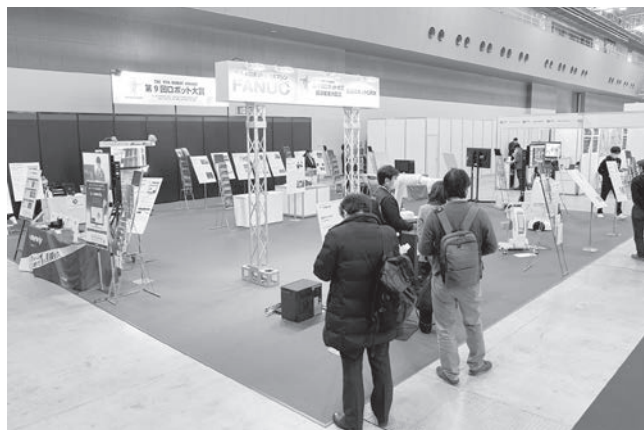
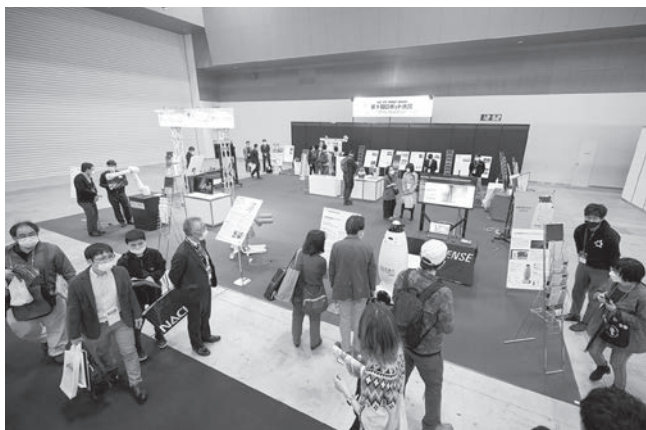
## ■ 併催企画

### 「第9回ロボット大賞」受賞ロボット合同展示

会場 東京ビッグサイト 東7ホール内

主催 経済産業省（幹事）、日本機械工業連合会（幹事）

「第9回ロボット大賞」を受賞した各種ロボットを展示。



### World Robot Summit 特別企画

会場 東京ビッグサイト 東7ホール内

主催 経済産業省、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）

World Robot Summit成果報告ブースでは、2021年9月・10月に愛知・福島でそれぞれ開催した本大会の成果報告として、ものづくり、サービス、インフラ・災害対応各カテゴリーの参加チームによる競技デモや展示、各種体験企画等を実施。





# 体験企画「つくる☆さわれる国際ロボット展」

会場 東京ビッグサイト 西4ホール内

## ■第42回全日本マイクロマウス大会

実施日：3月11日（金）・12日（土）

主催：ニューテクノロジー振興財団



## ■ロボット異種格闘技戦 KHK杯 出張版

実施日：3月12日（土）

主催：小原歯車工業



## ■水中ロボットを動かしてみよう！

実施日：3月12日（土）

主催：日本水中ロボネット、AFK研究所



## ■VIVITA ROBOCON in 2022国際ロボット展

実施日：3月12日（土）

主催：VIVIWARE/VIVITA JAPAN



## ■電動手押し車を使って楽に荷物を運んでみよう！

実施日：3月9日（水）～12日（土）

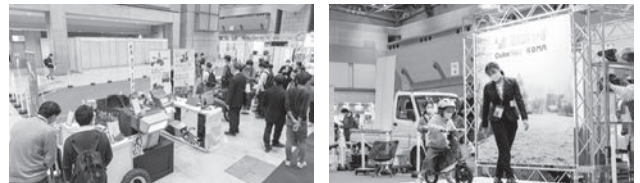
主催：CuboRex



## ■変形モビリティ体験&変形ロボット機構展示

実施日：3月9日（水）～12日（土）

主催：ICOMA



## ■ロボットホリデー

実施日：3月9日（水）～12日（土）

主催：マイクロスター



## ■オリジナルの「TonTonゴリラ」で紙ずもうをしよう！

実施日：3月12日（土）

主催：Shovel Head



## ■VEXロボティクス教育チャレンジ@iREX

実施日：3月12日（土）

主催：青少年STEM教育振興会（YSE）



# 会場図面（東1～3ホール）

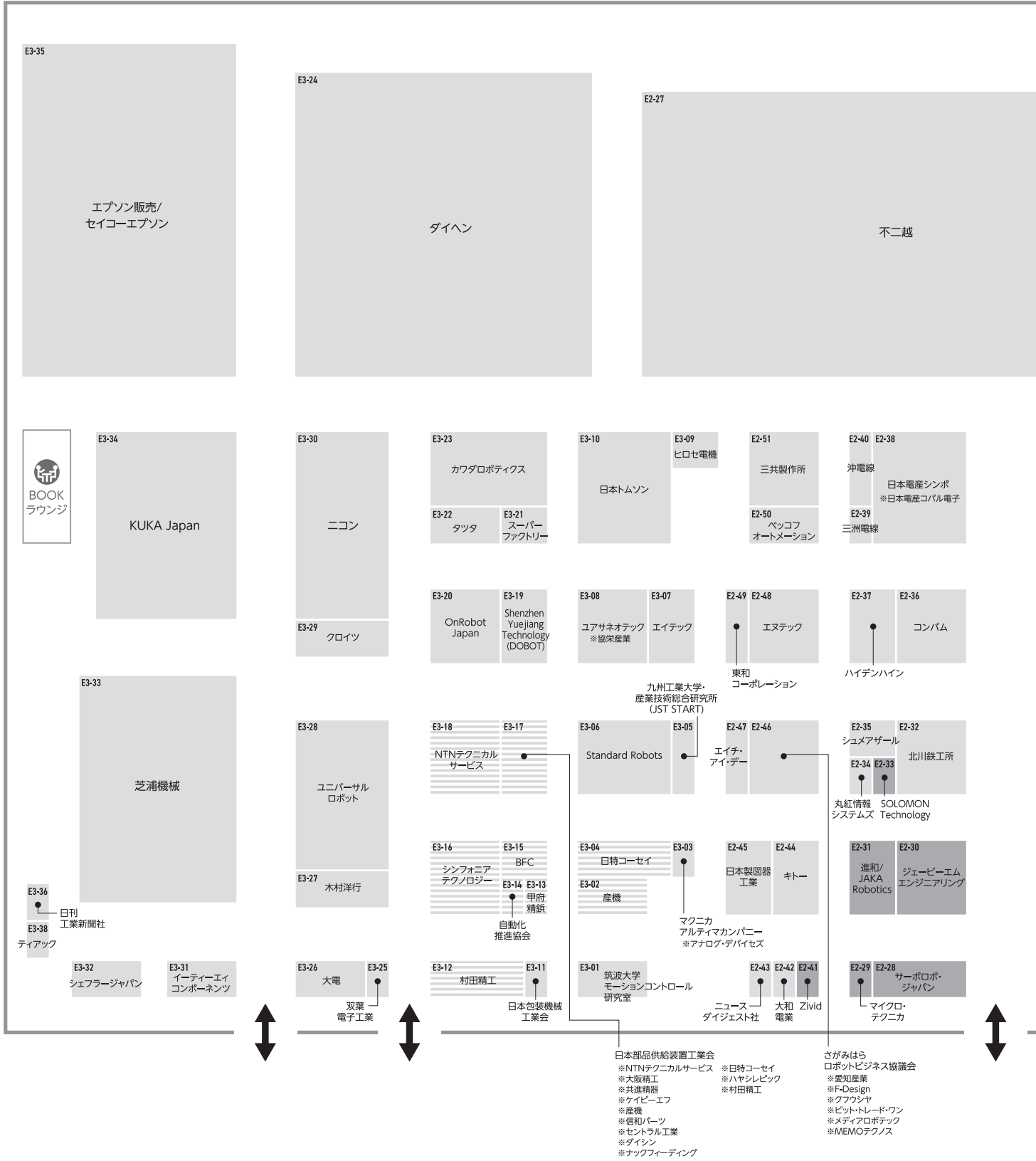
産業用ロボットゾーン

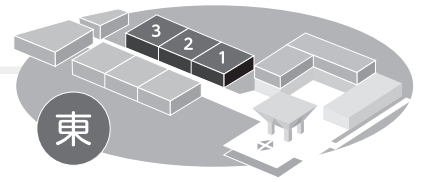
ロボットシミュレーション&ビジョンシステムゾーン

部品供給装置ゾーン

 ラウンジ

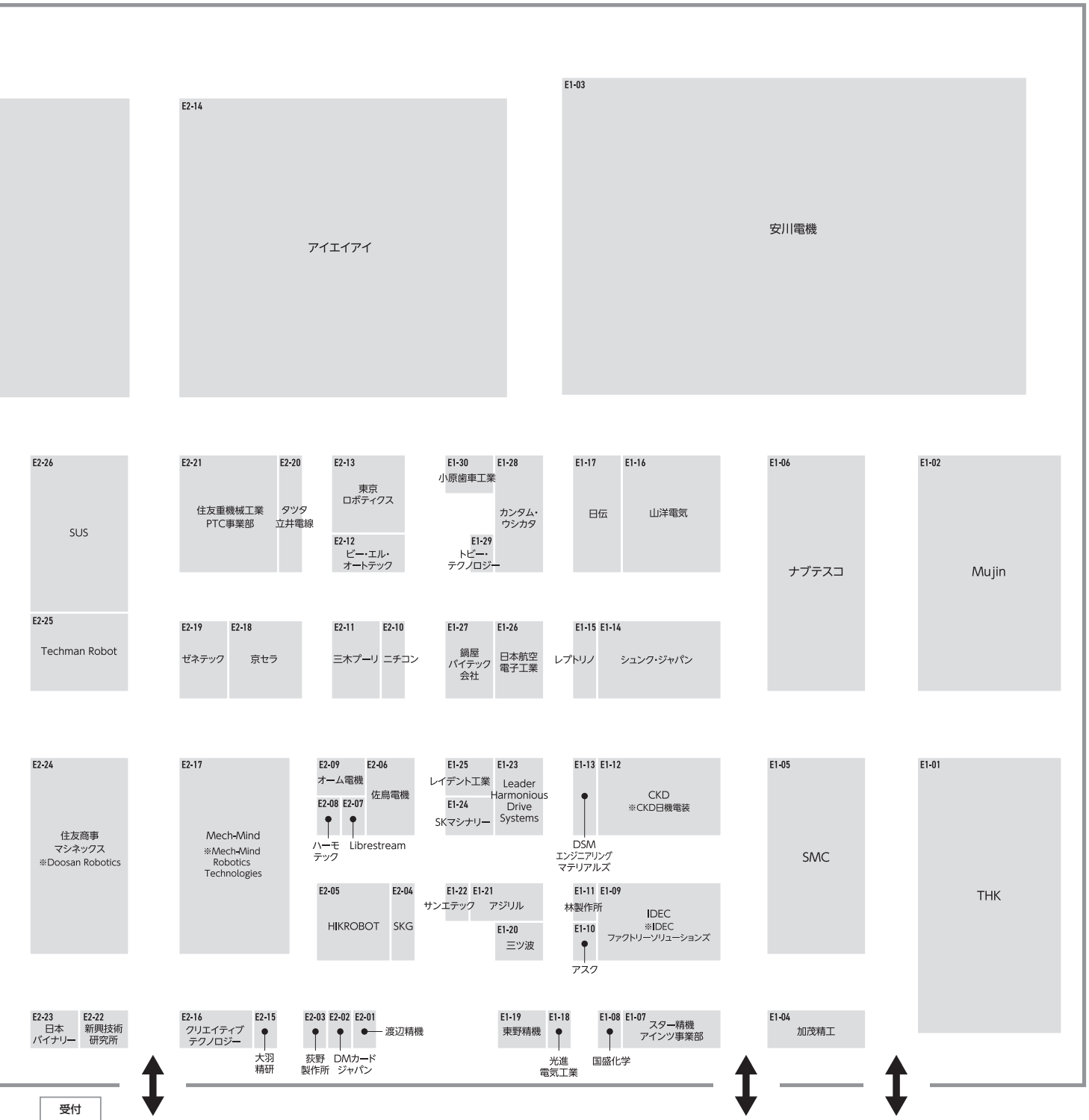
## 東3ホール





東2ホール

東1ホール



# 会場図面（東4～6ホール）

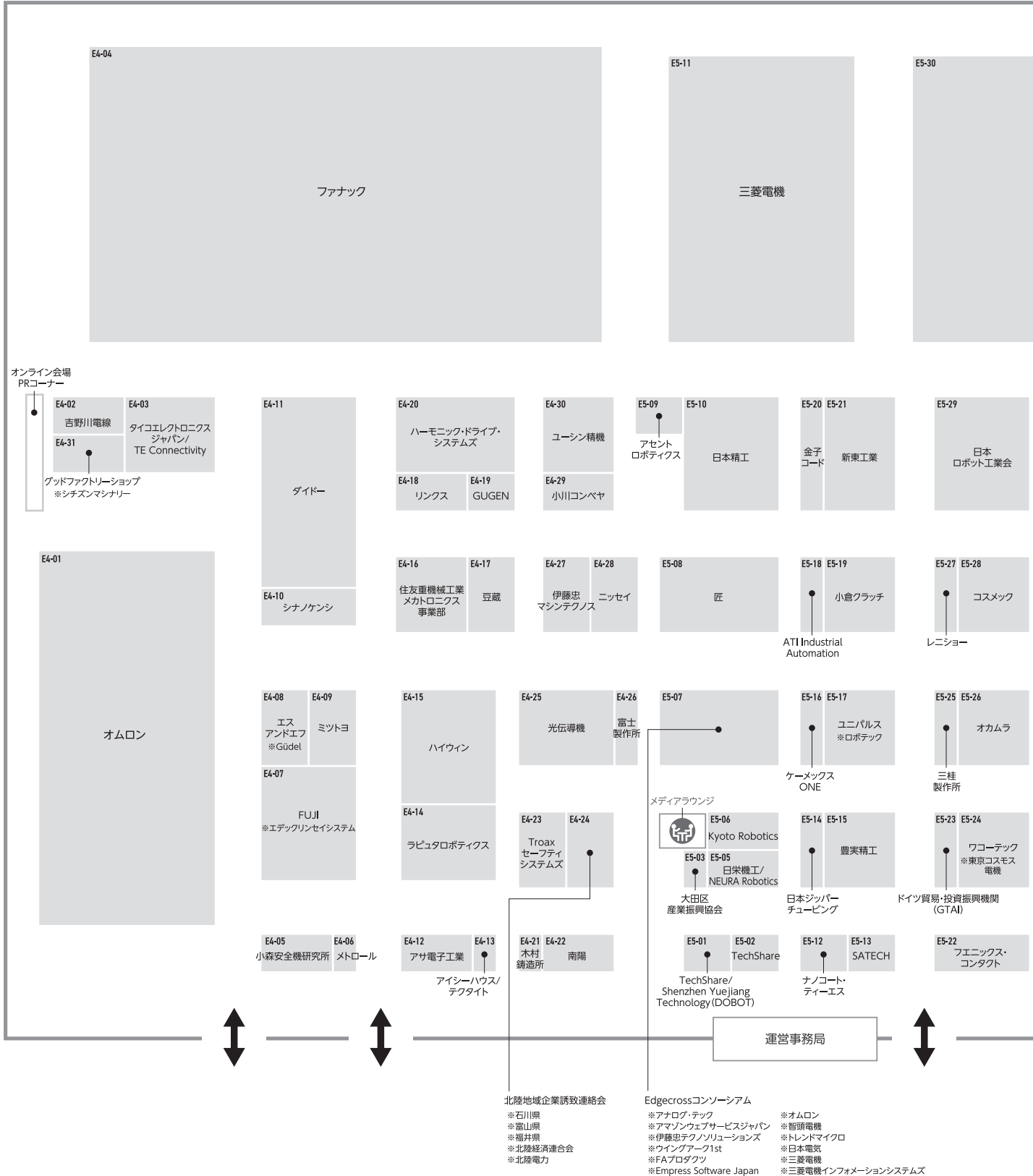
産業用ロボットゾーン

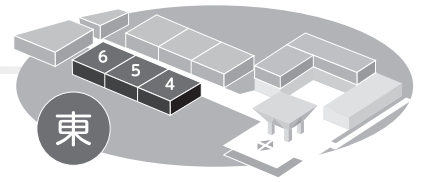
ロボットシステムインテグレーターゾーン

マテハン・ロボットゾーン

 ラウンジ

## 東4ホール





## 東5ホール

## 東6ホール

川崎重工業

E6-12

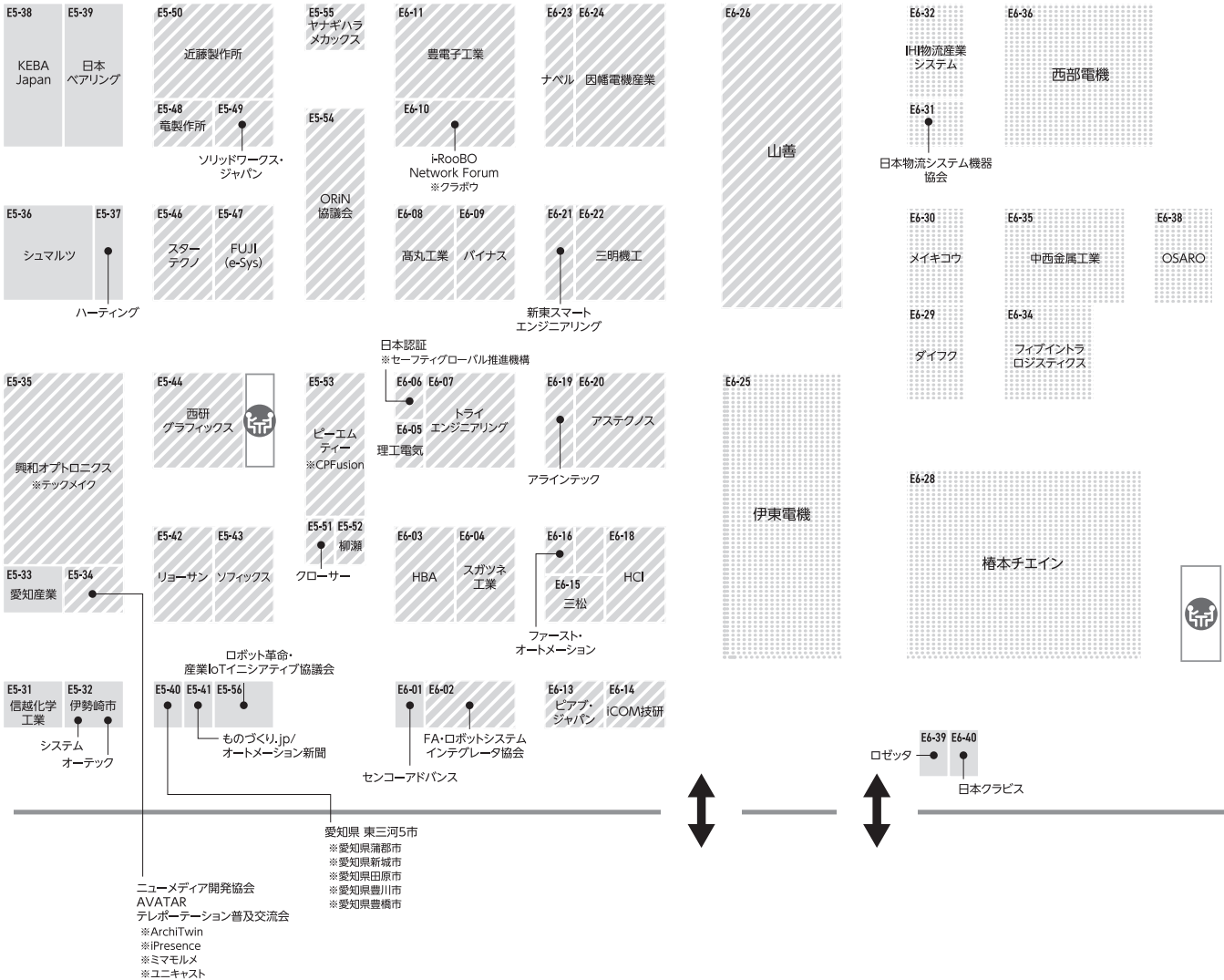
ヤマハ発動機

E6-27

オークラ輸送機

E6-33

村田機械



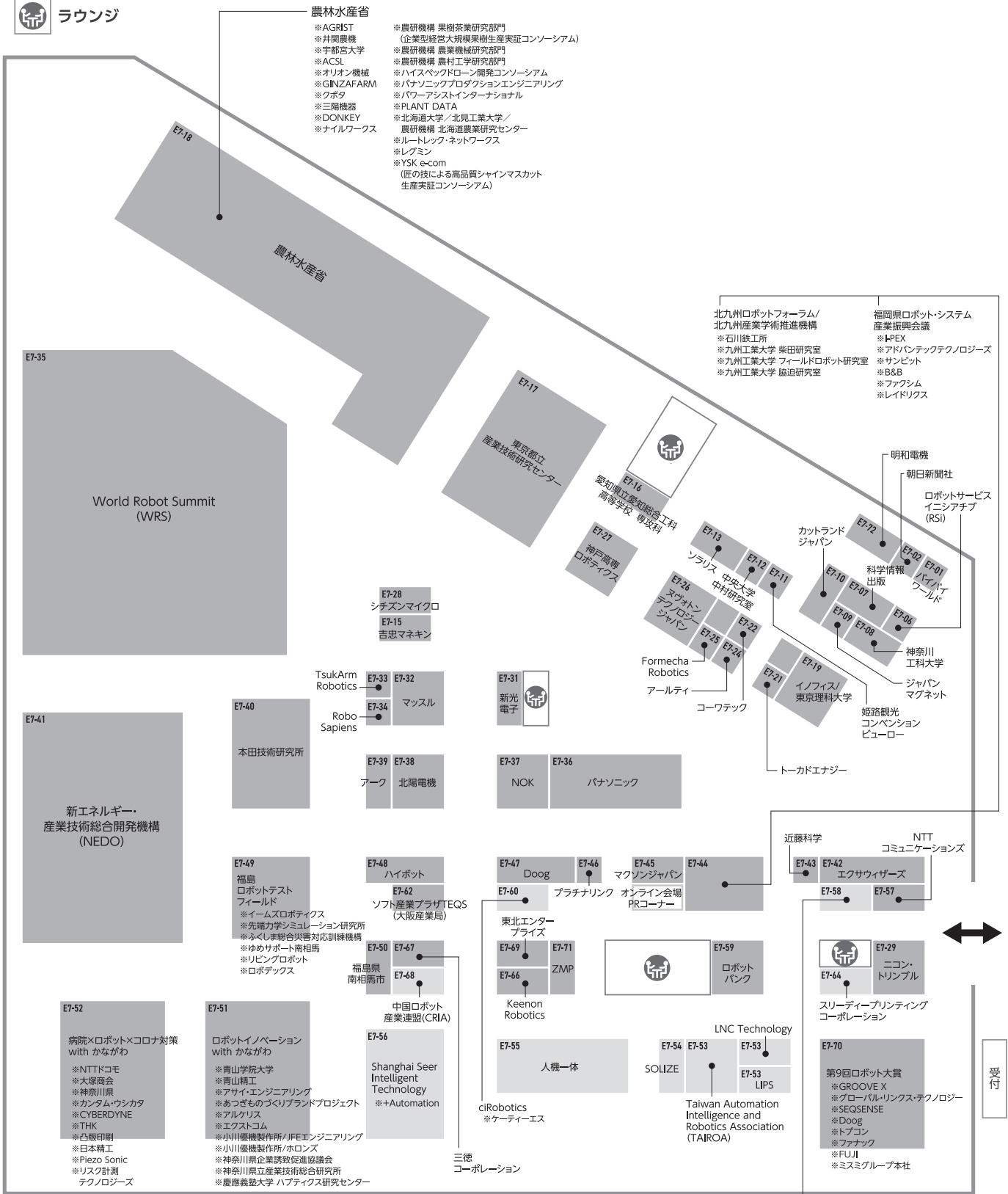
# 会場図面 (東7・8ホール)

## 産業用ロボットゾーン

## サービスロボットゾーン



ラウンジ



- 農林水産省**
- ※ AGRIST
  - ※ 井関農機
  - ※ 宇都宮大学
  - ※ ACSL
  - ※ オリオン機械
  - ※ GINZAFARM
  - ※ クボタ
  - ※ 三陽機器
  - ※ DONKEY
  - ※ ナイルワークス
- ※ 農研機構 果樹茶業研究部門 (企業型経営大規模果樹生産実証コンソーシアム)
- ※ 農研機構 農業機械研究部門
- ※ 農研機構 農村工学研究部門
- ※ ハイスベックドローン開発コンソーシアム
- ※ パナソニックプロダクションエンジニアリング
- ※ パワーアシストインターナショナル
- ※ PLANT DATA
- ※ 北海道大学 / 北見工業大学 / 農研機構 北海道農業研究センター
- ※ ルートレック・ネットワークス
- ※ レブミン
- ※ YSK e-com (匠の技による高品質シャインマスカット生産実証コンソーシアム)

- 北九州ロボットフォーラム / 北九州産業学術推進機構
- ※ 石川鉄工所
  - ※ 九州工業大学 柴田研究室
  - ※ 九州工業大学 フィールドロボット研究室
  - ※ 九州工業大学 臨海研究室
- 福岡県ロボット・システム産業振興会議
- ※ IPEX
  - ※ アドバンテックテクノロジーズ
  - ※ アンビット
  - ※ B&B
  - ※ ファクシム
  - ※ レイゾックス

E7-35

World Robot Summit (WRS)

E7-41

新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)

E7-52

病院×ロボット×コロナ対策 with かながわ

- ※ NTTドコモ
- ※ 大塚商会
- ※ 神奈川県
- ※ カンタム・ウシカタ
- ※ CYBERDYNE
- ※ THK
- ※ 凸版印刷
- ※ 日本精工
- ※ Piezo Sonic
- ※ リスク計測テクノロジーズ

E7-51

ロボットイノベーション with かながわ

- ※ 青山学院大学
- ※ 青山精工
- ※ アサイ・エンジニアリング
- ※ あつぎものづくりブランドプロジェクト
- ※ アルケリス
- ※ エクストコム
- ※ 小川慶機製作所/JFECエンジニアリング
- ※ 小川慶機製作所/ホロンズ
- ※ 神奈川県企業誘致促進協議会
- ※ 神奈川県立産業技術総合研究所
- ※ 慶應義塾大学 ハブテイクス研究センター

E7-33 E7-32

TsukArm Robotics

E7-34

Robo Sapiens

マッスル

E7-39 E7-38

アーグ 北陽電機

E7-37 E7-36

NOK パナソニック

E7-69 E7-71

東北エントラープライズ

E7-66

ZMP

Keenon Robotics

E7-55

人機一体

ciRobotics

※ ケーティーエス

三徳 コーポレーション

E7-13 E7-12 E7-11

ソナリス 中央大学 中村研究室

E7-24 E7-23 E7-22

スフオトン テクノロジー ジャパン

E7-25 E7-24

Formecha Robotics

アールティ

コーワテック

E7-21 E7-19

インフィス/ 東京理科大学

エー・ケー・エナジー

E7-47 E7-46

Doog

E7-60

プラチナリンク

東北エントラープライズ

E7-54 E7-53 E7-53

SOLIZE

Taiwan Automation Intelligence and Robotics Association (TAIROA)

E7-59

ロボットパンフ

E7-72 E7-02 E7-01

カットランド ジャパン

科学情報 出版

E7-10 E7-07

ハイハイワールド

E7-08

神奈川 工科大学

E7-09

ジャパン マグネット

E7-19

姫路観光 コンベンション ビューロー

明和電機

朝日新聞社

ロボットサービス イニシアチブ (RSI)

E7-43 E7-42

近藤科学

NTT コミュニケーションズ

E7-58 E7-57

エクサイザーズ

E7-29

ニコン トリプル

E7-64

スリーディープリンティング コーポレーション

E7-70

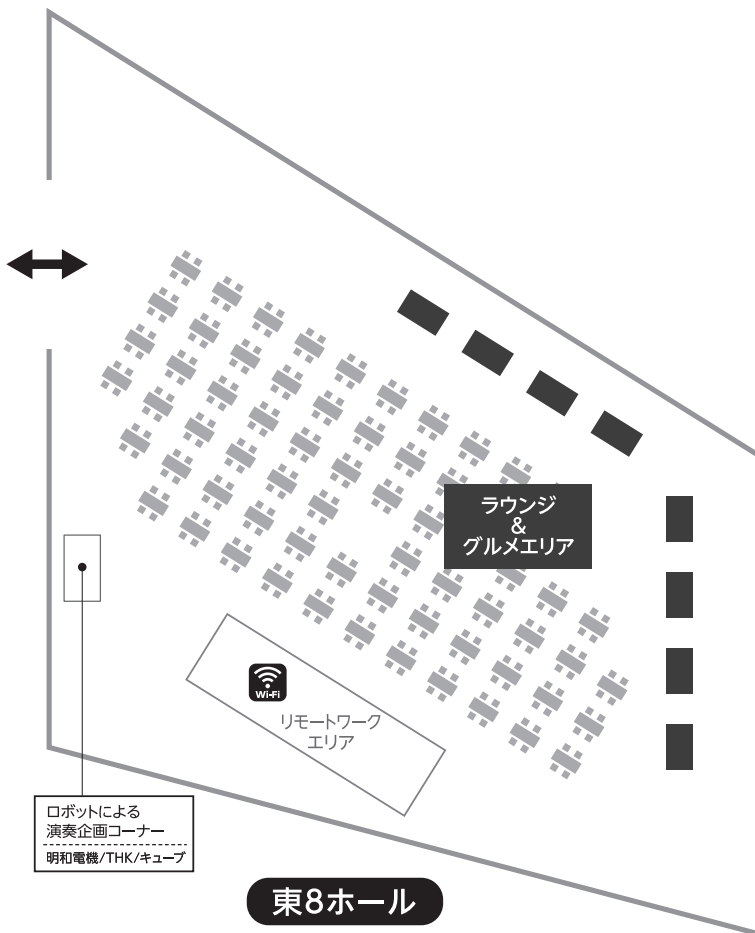
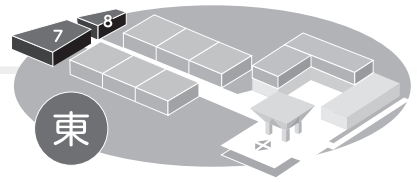
第9回ロボット大賞

- ※ GROOVE X
- ※ グローバルリンクス・テクノロジー
- ※ SEQSENSE
- ※ Doog
- ※ トブコン
- ※ ファナック
- ※ FUJII
- ※ ミスミグループ本社

## 東7ホール

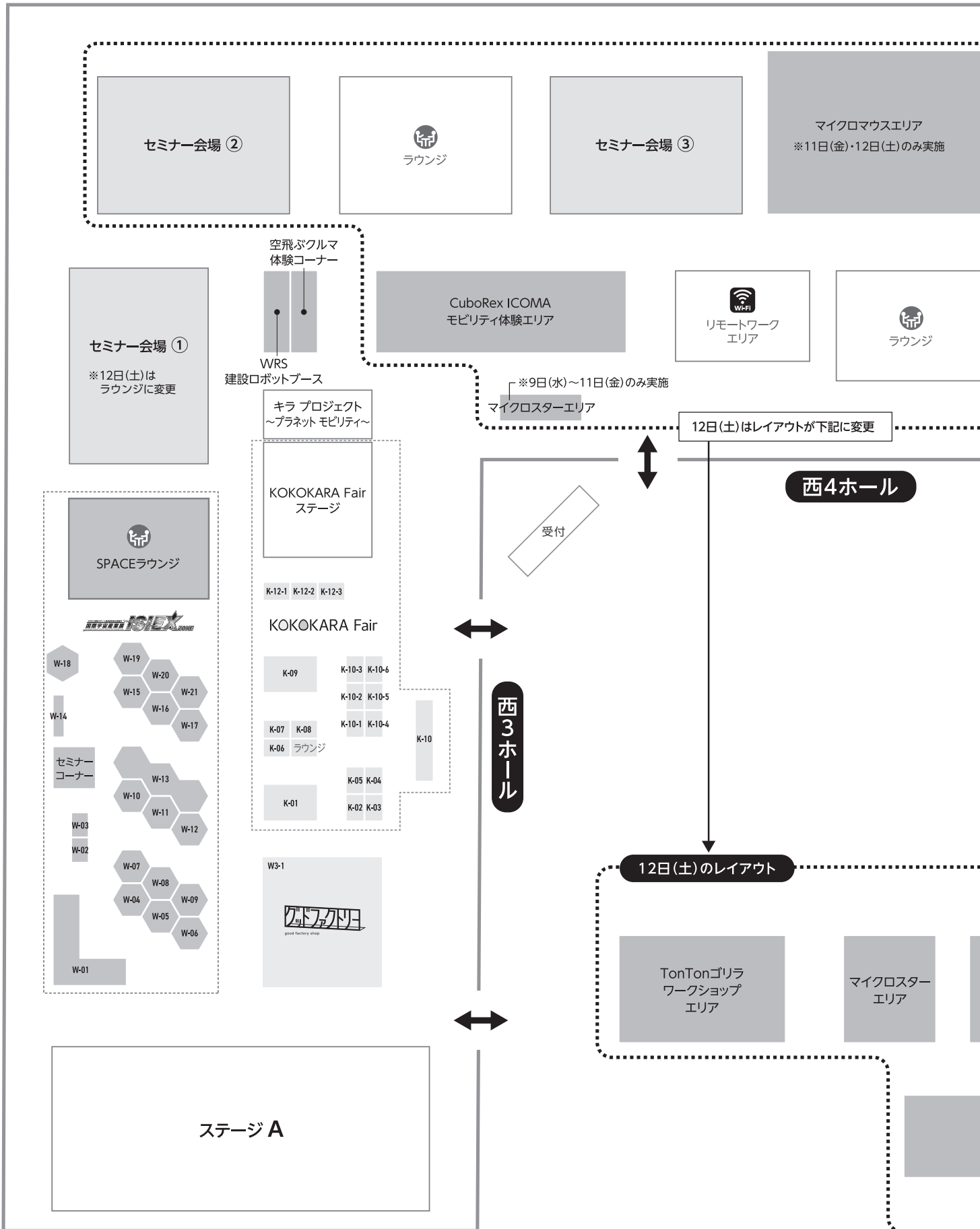
パーツサプライセンター

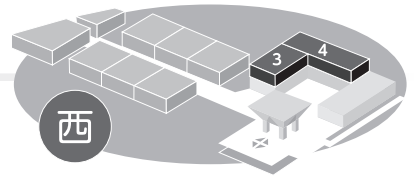
※ Xiamen Wain Electrical





# 会場図面（西3・4ホール）





## KOKOKARA Fair

出展者名	ブースNo.	オンライン
Andeco	K-01	
a-tune	K-04	
愛媛県 新居浜市	K-03	
オープンイノベーション・ベンチャー創造協議会 (JOIC)	K-08	
神奈川県立産業技術総合研究所	K-10	
※アサイ・エンジニアリング	K-10-2	
※アルケリス	K-10-6	
※小川優機製作所	K-10-1	
※ニフコ	K-10-4	
※マイクロテック・ラボラトリー	K-10-3	
※MEMOテクノス	K-10-5	
昆虫食品研究開発 クロステックコンソーシアムNeoAxis	K-09	
シー・エイチ・シー・システム	K-07	
SWITCH	K-02	
高崎経済大学発ベンチャー企業・FUTURENAUT	K-09	
東京農業大学発ベンチャー企業 ・うつせみテクノ&バイオロボティクス研究室	K-09	
2025年日本国際博覧会協会	K-05	★
日本食農連携機構	K-12	
※アドバンテック	K-12-2	
※次世代産業研究所	K-12	
※マイファーム	K-12-3	
※みんな電力×グリーンシステムコーポレーション	K-12-1	
FUNDINNO (旧:日本クラウドキャピタル)	K-06	

★はIREX ONLINEにも出展

ステージ B



出展者名	ブースNo.	オンライン
インターステラテクノロジズ	W-15	★
UZUME(月火星の縦孔・地下空洞探査)計画	W-02	
宇宙航空研究開発機構	W-14	★
宇宙の店	SPACEラウンジ	
ABLab	W-19	★
鹿島建設	W-04	★
システム計画研究所	W-07	★
SOOM	W-21	
スパイスサーブ	SPACEラウンジ	
SPACE WALKER	W-10	
スペース・コタン	W-16	★
ダイモン	W-01	★
竹中工務店	W-05	★
駐日英国大使館 国際通商部	W-09	★
春山純一研究室 (JAXA/宇宙科学研究所)	W-03	
Pale Blue	W-12	
三井住友海上火災保険	W-17	★
三井物産エアロスペース	W-08	★
YAOKI エデュケーション&エンターテインメント	W-18	
有人宇宙システム	W-13	★
リーマンサット・プロジェクト	W-20	
ルクセンブルク貿易投資事務所	W-06	★
レストラン ラッセ	SPACEラウンジ	
ワープスペース	W-11	★

★はIREX ONLINEにも出展

## つくる☆ とわめる 国際ロボット展

水中ロボット  
&  
古代生物型ロボット  
操縦体験エリア

VIVITA  
エリア

マイクロマウス  
エリア

CuboRex ICOMA  
モビリティ体験エリア

かわさきロボット競技大会  
エリア

VEXエリア



出展者名	ブースNo.	オンライン
伊福精密	W3-1	
コアマシナリー	W3-1	
シチズンマシナリー【スポンサー】	E4-31(東4ホール)	★
ソディック【スポンサー】	W3-1	★
ツカダ	W3-1	
早野研工	W3-1	
マクルウ	W3-1	

★はIREX ONLINEにも出展

# 出展者一覧 (五十音順 ※は共同出展者 ☆はiREX ONLINEにも出展)

<b>あ</b>			OSARO	E6-38	シェフラー・ジャパン	E3-32	
アーク	E7-39		オムロン	☆ E4-01	Shenzhen Yuejiang Technology (DOBOT)	E3-19	
アルティ	E7-24		ORiN協議会	E5-54	シチズンマイクロ	E7-28	
アイエイアイ	E2-14		OnRobot Japan	E3-20	自動化推進協会	E3-14	
IHI物流産業システム	E6-32		<b>か</b>			シナノケンシ	☆ E4-10
iCOM技研	E6-14		科学情報出版	E7-07	芝浦機械	E3-33	
アイシーハウス/テクタイト	E4-13		カットランドジャパン	E7-10	ジャパンマグネット	E7-09	
愛知県 東三河5市	E5-40		神奈川工科大学	☆ E7-08	Shanghai Seer Intelligent Technology	E7-56	
※愛知県蒲郡市	E5-40		金子コード	E5-20	※+Automation	E7-56	
※愛知県新城市	E5-40		加茂精工	E1-04	シュマルツ	☆ E5-36	
※愛知県田原市	E5-40		川崎重工業	☆ E5-30	シュメアザール	E2-35	
※愛知県豊川市	E5-40		カワダロボティクス	☆ E3-23	シュンク・ジャパン	☆ E1-14	
※愛知県豊橋市	E5-40		カンタム・ウシカタ	E1-28	信越化学工業	E5-31	
愛知県立愛知総合工科高等学校 専攻科	E7-16		Keenon Robotics	E7-66	新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)	E7-41	
愛知産業	E5-33		北川鉄工所	☆ E2-32	人機一体	E7-55	
IDEC	☆ E1-09		北九州ロボットフォーラム/北九州産業学術推進機構	E7-44	新興技術研究所	E2-22	
※IDECファクトリーソリューションズ	E1-09		※石川鉄工所	E7-44	新光電子	E7-31	
i-RooBO Network Forum	E6-10		※九州工業大学 柴田研究室	E7-44	新東工業	E5-21	
※クラブオウ	E6-10		※九州工業大学 フィールドロボット研究室	E7-44	新東スマートエンジニアリング	E6-21	
朝日新聞社	E7-02		※九州工業大学 脇迫研究室	E7-44	シンフォニアテクノロジー	E3-16	
アサ電子工業	E4-12		キトー	E2-44	進和/JAKA Robotics	E2-31	
アジリル	E1-21		木村鋳造所	E4-21	スーパーファクトリー	E3-21	
アスク	E1-10		木村洋行	E3-27	スガツネ工業	E6-04	
アステクノス	E6-20		九州工業大学・産業技術総合研究所 (JST START)	E3-05	スター精機 アインツ事業部	E1-07	
アセントロボティクス	☆ E5-09		京セラ	E2-18	スターテクノ	E5-46	
アラインテック	E6-19		Kyoto Robotics	E5-06	Standard Robots	☆ E3-06	
イーティーエィコンポーネツ	☆ E3-31		KUKA Japan	E3-34	住友重機械工業 PTC事業部	☆ E2-21	
伊勢崎市	E5-32		GUGEN	E4-19	住友重機械工業 メカトロニクス事業部	E4-16	
※オーテック	E5-32		グッドファクトリーショップ	E4-31	住友商事マシネックス	☆ E2-24	
※システム	E5-32		※シチズンマシナリー	☆ E4-31	※Doosan Robotics	E2-24	
伊藤忠マシントクノス	E4-27		国盛化学	E1-08	西研グラフィックス	E5-44	
伊東電機	E6-25		クリエイティブテクノロジー	☆ E2-16	西部電機	E6-36	
因幡電機産業	☆ E6-24		クロイツ	E3-29	ZMP	E7-71	
イノフィス/東京理科大学	E7-19		クローサー	E5-51	ゼネテック	E2-19	
エイチ・アイ・デー	☆ E2-47		ケーメックスONE	E5-16	センコーアドバンス	E6-01	
HCI	E6-18		KEBA Japan	E5-38	ソフィックス	☆ E5-43	
HBA	E6-03		光進電気工業	E1-18	ソフト産業プラザTEQS (大阪産業局)	E7-62	
ATI Industrial Automation	E5-18		甲府精鉄	E3-13	SOLIZE	☆ E7-54	
エイテック	E3-07		神戸高専ロボティクス	E7-27	ソラリス	E7-13	
エクサウィザーズ	E7-42		興和オプトロニクス	E5-35	ソリッドワークス・ジャパン	☆ E5-49	
エスアンドエフ	E4-08		※テックメイク	E5-35	SOLOMON Technology	E2-33	
※Güdel	E4-08		コーワテック	E7-22	<b>た</b>		
SMC	E1-05		コスメック	☆ E5-28	第9回ロボット大賞合同展示	E7-70	
SKG	E2-04		小原歯車工業	E1-30	タイコエレクトロニクスジャパン/TE Connectivity	E4-03	
SKマシナリー	E1-24		小森安全機研究所	E4-05	大電	☆ E3-26	
SUS	E2-26		近藤科学	E7-43	ダイドー	☆ E4-11	
Edgecrossコンソーシアム	☆ E5-07		近藤製作所	E5-50	ダイフク	E6-29	
※アナログ・テック	E5-07		コンバム	E2-36	ダイヘン	☆ E3-24	
※アマゾンウェブサービスジャパン	E5-07		<b>さ</b>			大和電業	E2-42
※伊藤忠テクノソリューションズ	E5-07		SATECH	☆ E5-13	Taiwan Automation Intelligence and Robotics Association (TAIROA)	E7-53	
※ウイングアーク1st	E5-07		サーボロボ・ジャパン	E2-28	※LNC Technology	E7-53	
※FAプロダクツ	E5-07		さがみはらロボットビジネス協議会	E2-46	※LIPS	E7-53	
※Empress Software Japan	E5-07		※愛知産業	E2-46	高丸工業	E6-08	
※オムロン	E5-07		※F-Design	E2-46	匠	E5-08	
※智頭電機	E5-07		※クフウシヤ	E2-46	タツタ	E3-22	
※トレンドマイクロ	E5-07		※ビット・トレード・ワン	E2-46	タツタ立井電線	E2-20	
※日本電気	E5-07		※メディアロボテック	E2-46	中央大学 中村研究室	E7-12	
※三菱電機	E5-07		※MEMOテクノス	E2-46	中国ロボット産業連盟 (CRIA)	E7-68	
※三菱電機インフォメーションシステムズ	E5-07		佐鳥電機	E2-06	TsukArm Robotics	E7-33	
NOK	☆ E7-37		サンエテック	E1-22	筑波大学 モーションコントロール研究室	E3-01	
NTNテクニカルサービス	E3-18		産機	E3-02	椿本チエイン	E6-28	
NTTコミュニケーションズ	E7-57		三共製作所	E2-51	ティアック	E3-38	
エヌテック	E2-48		三桂製作所	E5-25	DSMエンジニアリングマテリアルズ	E1-13	
FA・ロボットシステムインテグレーション協会	E6-02		三洲電線	E2-39	THK	☆ E1-01	
エプソン販売/セイコーエプソン	☆ E3-35		三徳コーポレーション	E7-67	DMカードジャパン	E2-02	
オークラ輸送機	E6-27		三松	E6-15	TechShare/Shenzhen Yuejiang Technology (DOBOT)	E5-01	
大田区産業振興協会	E5-03		三明機工	E6-22	TechShare	E5-02	
大羽精研	E2-15		山洋電気	☆ E1-16	Techman Robot	E2-25	
オーム電機	E2-09		ciRobotics	E7-60	ドイツ貿易・投資振興機関 (GTAI)	☆ E5-23	
オカムラ	☆ E5-26		※ケーティーエス	E7-60	東京都立産業技術研究センター	E7-17	
小川コンベヤ	E4-29		CKD	☆ E1-12	東京ロボティクス	E2-13	
沖電線	☆ E2-40		※CKD日機電装	E1-12	東野精機	E1-19	
荻野製作所	E2-03		Zivid	E2-41	東北エンタープライズ	E7-69	
小倉クラッチ	E5-19		ジェービーエムエンジニアリング	E2-30			

東和コーポレーション	E2-49	※北海道大学/北見工業大学/	E7-18	※北陸電力	E4-24
トーカドエナジー	☆ E7-21	農研機構 北海道農業研究センター		本田技術研究所	E7-40
Doog	E7-47	※ルートレック・ネットワークス	E7-18	ま	
トビー・テクノロジー	E1-29	※レグミン	E7-18	マイクロ・テクニカ	E2-29
トライエンジニアリング	E6-07	※YSK e-com(匠の技による高品質シャイン	E7-18	マクソンジャパン	☆ E7-45
Troaxセーフティシステムズ	E4-23	マスカット生産実証コンソーシアム)		マクニカ アルティマカンパニー	E3-03
な		は		※アナログ・デバイセス	E3-03
中西金属工業	E6-35	パーツサプライセンター	☆ E7-58	マッスル	☆ E7-32
ナノコート・ティーエス	E5-12	※Xiamen Wain Electrical	E7-58	豆蔵	E4-17
ナプテスコ	E1-06	ハーティング	E5-37	丸紅情報システムズ	E2-34
鍋屋バイテック会社	E1-27	ハーモテック	E2-08	三木ブリー	E2-11
ナベル	E6-23	ハーモニック・ドライブ・システムズ	☆ E4-20	ミツトヨ	E4-09
南陽	E4-22	ハイウイン	☆ E4-15	ミツ波	E1-20
ニコン	E3-30	ハイデンハイン	☆ E2-37	三菱電機	☆ E5-11
ニコン・トリプル	E7-29	バイナス	E6-09	Mujin	E1-02
日栄機工/NEURA Robotics	☆ E5-05	バイバイワールド	E7-01	村田機械	E6-33
ニチコン	E2-10	ハイボット	E7-48	村田精工	E3-12
日伝	E1-17	パナソニック	☆ E7-36	メイキコウ	E6-30
ニッセイ	E4-28	林製作所	E1-11	明和電機	E7-72
日特コーセイ	E3-04	ピアブ・ジャパン	E6-13	Mech-Mind	E2-17
日本精工	☆ E5-10	ビー・エル・オートテック	E2-12	※Mech-Mind Robotics Technologies	E2-17
日本トムソン	E3-10	BFC	E3-15	メトロール	E4-06
日本ベアリング	E5-39	ビーエムティー	E5-53	ものづくり.jp/オートメーション新聞	E5-41
日本クラビス	E6-40	※CPFusion	E5-53	や	
日本航空電子工業	E1-26	光伝導機	E4-25	安川電機	☆ E1-03
日本ジッパーチュービング	E5-14	HIKROBOT	E2-05	ヤナギハラメカックス	E5-55
日本製図器工業	E2-45	姫路観光コンベンションビューロー	E7-11	柳瀬	E5-52
日本電産シンボ	☆ E2-38	病院×ロボット×コロナ対策 withかながわ	E7-52	山善	E6-26
※日本電産コバル電子	E2-38	※NTTドコモ	E7-52	ヤマハ発動機	☆ E6-12
日本認証	E6-06	※大塚商会	E7-52	ユアサネオテック	E3-08
※セーフティグローバル推進機構	E6-06	※神奈川県	E7-52	※協栄産業	E3-08
日本バイナリー	E2-23	※カンタム・ウシカタ	E7-52	ユーシン精機	E4-30
日本物流システム機器協会	E6-31	※CYBERDYNE	E7-52	豊電子工業	E6-11
日本部品供給装置工業会	E3-17	※THK	E7-52	ユニバーサルロボット	☆ E3-28
※NTNテクニカルサービス	E3-17	※凸版印刷	E7-52	ユニバルス	E5-17
※大阪精工	E3-17	※日本精工	E7-52	※ロボテック	E5-17
※共進精器	E3-17	※Piezo Sonic	E7-52	吉忠マネキン	E7-15
※有限会社ケイピーエフ	E3-17	※リスク計測テクノロジーズ	E7-52	吉野川電線	E4-02
※産機	E3-17	ヒロセ電機	☆ E3-09	ら	
※信和パーツ	E3-17	ファースト・オートメーション	☆ E6-16	ラビュタロボティクス	E4-14
※セントラル工業	E3-17	ファナック	☆ E4-04	Leader Harmonious Drive Systems	E1-23
※ダイシン	E3-17	フィブイントラロジスティクス	E6-34	理工電気	E6-05
※ナックフィーディング	E3-17	フェニックス・コンタクト	☆ E5-22	Librestream	E2-07
※日特コーセイ	E3-17	Formecha Robotics	E7-25	竜製作所	E5-48
※ハヤシレック	E3-17	福岡県ロボット・システム産業振興会議	E7-44	リョーサン	E5-42
※村田精工	E3-17	※I-PEX	E7-44	リンクス	E4-18
日本包装機械工業会	E3-11	※アドバンテックテクノロジーズ	E7-44	レイデント工業	E1-25
日本ロボット工業会	E7-65	※サンビット	E7-44	レニショー	E5-27
ニュースダイジェスト社	E2-43	※B&B	E7-44	レプトリノ	E1-15
ニューメディア開発協会 AVATARテレポーション普及交流会	E5-34	※ファクシム	E7-44	ロゼッタ	E6-39
※ArchiTwin	E5-34	※レイドリクス	E7-44	RoboSapiens	E7-34
※iPresence	E5-34	福島県南相馬市	E7-50	ロボット革命・産業IoTイニシアティブ協議会	E5-56
※ミマールメ	E5-34	福島ロボットテストフィールド	E7-49	ロボットイノベーションwithかながわ	E7-51
※ユニキャスト	E5-34	※イームズロボティクス	E7-49	※青山学院大学	E7-51
ヌヴォトン テクノロジージャパン	E7-26	※先端力学シミュレーション研究所	E7-49	※青山精工	E7-51
農林水産省	E7-18	※ふくしま総合災害対応訓練機構	E7-49	※アサイ・エンジニアリング	E7-51
※AGRIST	E7-18	※ゆめサポート南相馬	E7-49	※あつぎものづくりブランドプロジェクト	E7-51
※井関農機	E7-18	※リビングロボット	E7-49	※アルケリス	E7-51
※宇都宮大学	E7-18	※ロボテックス	E7-49	※エクストコム	E7-51
※ACSL	E7-18	FUJI	E4-07	※小川優機製作所/JFEエンジニアリング	E7-51
※オリエン機械	E7-18	※エデックリンセイシステム	E4-07	※小川優機製作所/ホロンズ	E7-51
※GINZAFARM	E7-18	FUJI (e-System)	E5-47	※神奈川県企業誘致促進協議会	E7-51
※クボタ	E7-18	不二越	☆ E2-27	※神奈川県立産業技術総合研究所	E7-51
※三陽機器	E7-18	富士製作所	E4-26	※慶応義塾大学 ハプティクス研究センター	☆ E7-51
※DONKEY	E7-18	双葉電子工業	E3-25	※ダブル技研	E7-51
※ナイルワークス	E7-18	ブラチナリンク	E7-46	※MANOI企画/ロボットゆうえんち	E7-51
※農研機構 果樹茶業研究部門(企業型経営	E7-18	ベッコフオートメーション	E2-50	※モーションリブ	E7-51
大規模果樹生産実証コンソーシアム)		豊実精工	E5-15	ロボットサービスイニシアチブ (RSi)	E7-06
※農研機構 農業機械研究部門	E7-18	北陽電機	E7-38	ロボットバンク	E7-59
※農研機構 農村工学研究部門	E7-18	北陸地域企業誘致連絡会	E4-24	わ	
※ハイスベックドローン開発コンソーシアム	E7-18	※石川県	E4-24	World Robot Summit	☆ E7-35
※パナソニックプロダクションエンジニアリング	E7-18	※富山県	E4-24	ワコーテック	☆ E5-24
※パワーアシストインターナショナル	E7-18	※福井県	E4-24	※東京コスモス電機	☆ E5-24
※PLANT DATA	E7-18	※北陸経済連合会	E4-24	渡辺精機	E2-01

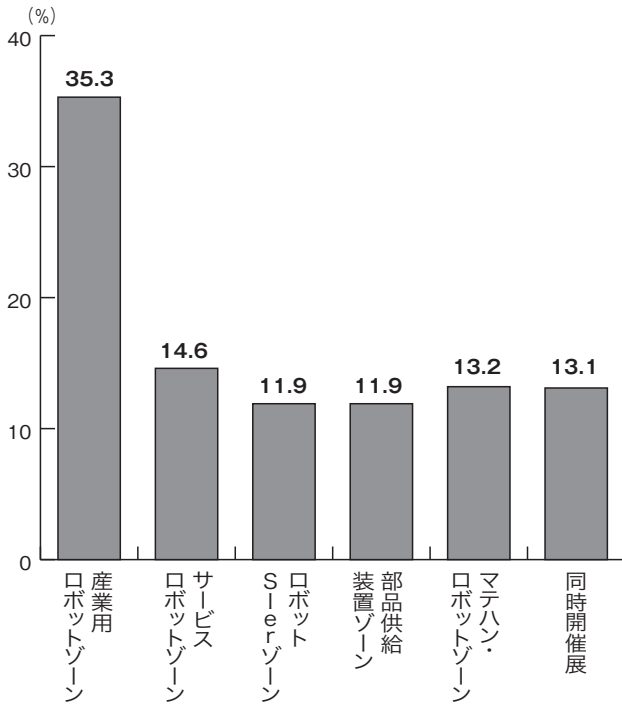
# 来場者アンケート集計結果

※ ( ) 内は前回2019年の数字

## Q1.

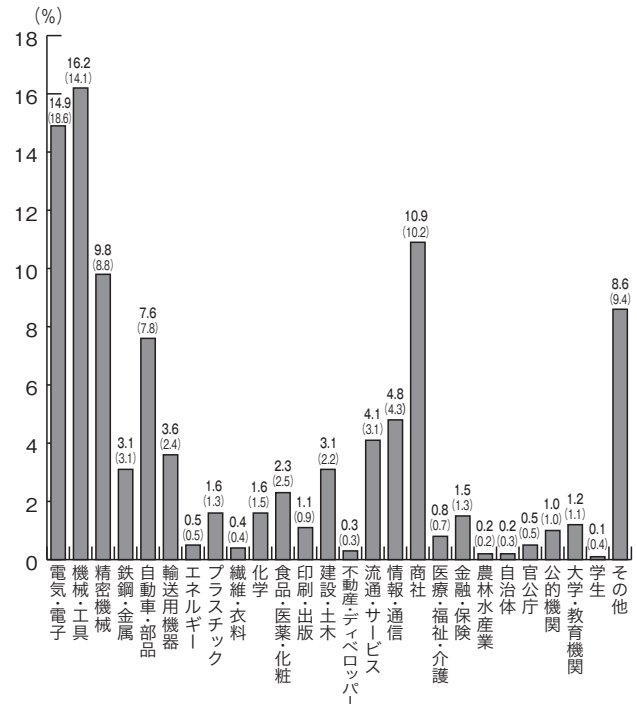
どちらのゾーンを目的に来場されましたか？

※複数回答可



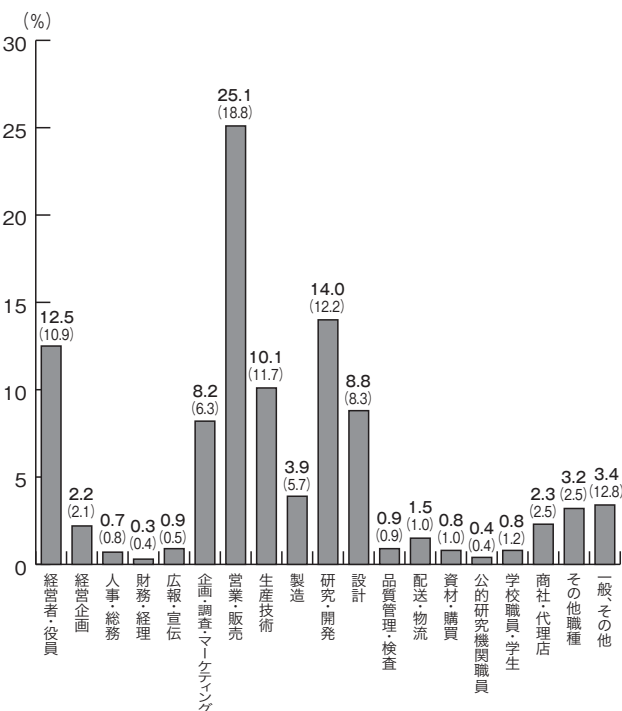
## Q2.

あなたの所属先の業種は何ですか？



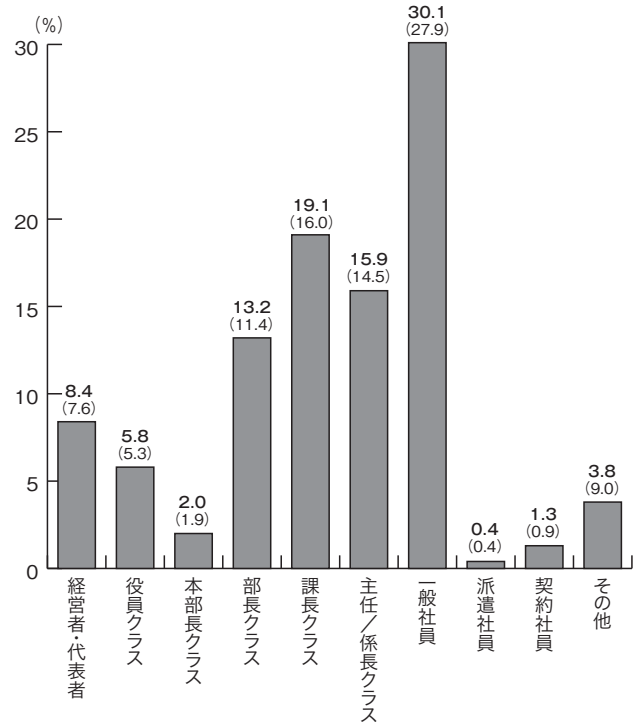
## Q3.

あなたの職種は何ですか？



## Q4.

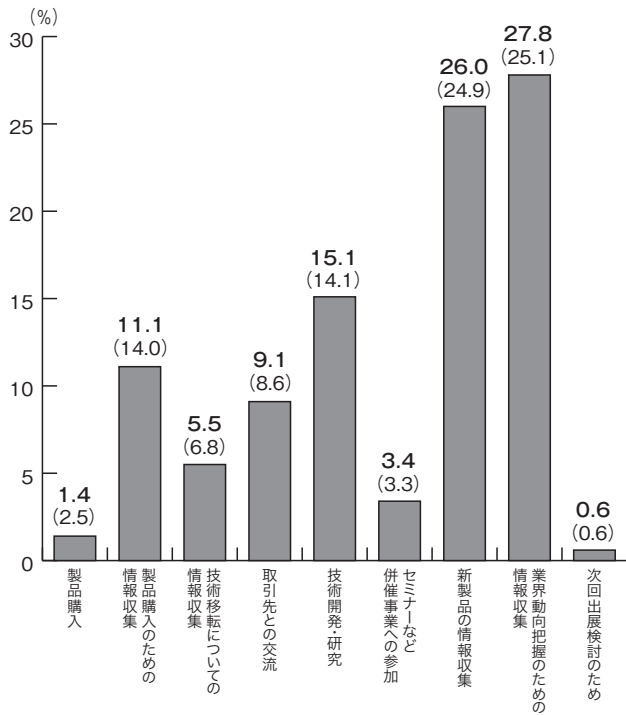
あなたの役職は何ですか？



### Q5.

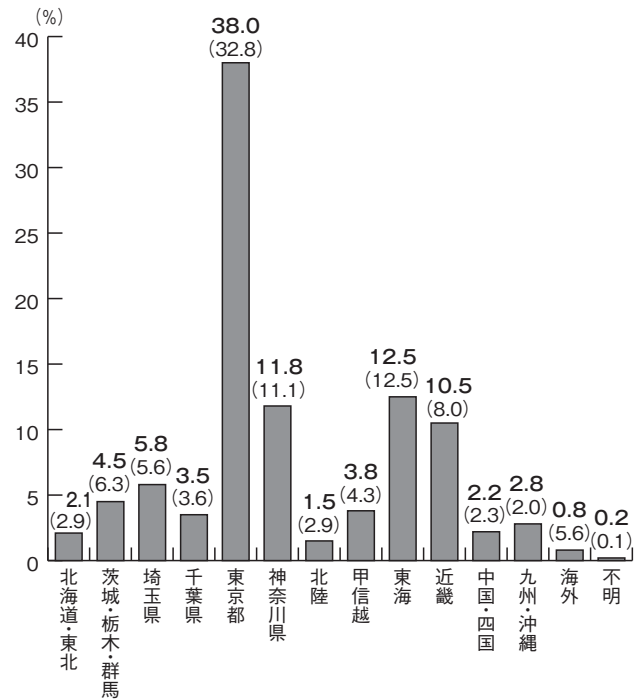
来場目的は何ですか？

※複数回答可



### Q6.

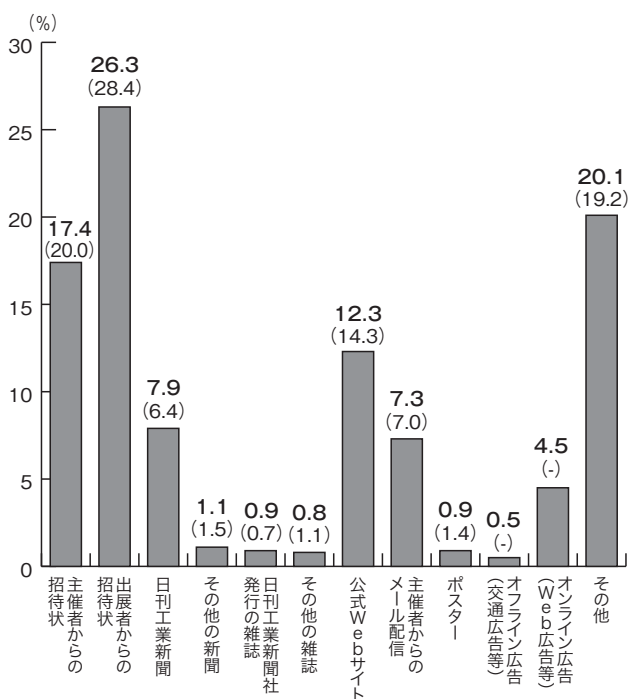
どちらからお越しになりましたか？



### Q7.

本展を何でお知りになりましたか？

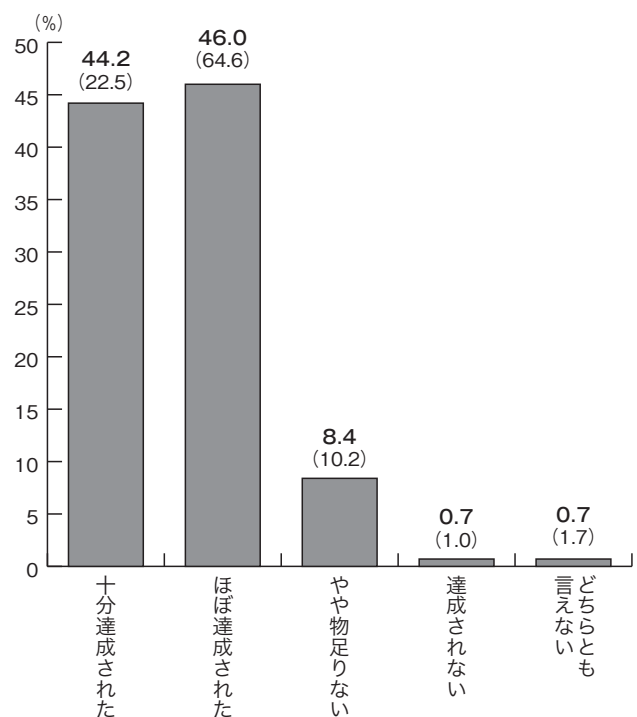
※複数回答可



### Q8.

ご来場の目的は達せられましたか？

(会期内アンケートより／有効回答数：274件)



# プレス来場リスト (141社)

AFP通信社  
ARDドイツテレビ  
BS朝日  
CQ出版  
DG Lab Haus  
FA.Regalo  
Gichoビジネスコミュニケーションズ  
Impact Japan  
KSR  
MIRU  
NEWSY  
officeYAMAMOTO  
Pavism  
Presseclub concordia  
QUALITY LIFE  
Sipa Press  
TBSスパークル  
TBSテレビ  
アイティメディア  
アイメディア  
朝日新聞社  
アプレシア  
アベルザ  
アラフネ計画  
イード  
イントリックス  
ウレルブン  
えすと  
オーム社  
オフィス平山  
オプトロニクス社  
カーゴニュース  
海事プレス社  
化学工業日報社  
角川アスキー総合研究所  
ガンマ通信  
共同通信社  
京都新聞社  
クリエイイト日報  
グローブコム  
経営実践支援協会  
経済産業新報社  
芸文社  
鶏卵肉情報センター  
ケー・アンド・エル  
工学社  
工業通信  
航空新聞社

講談社ビーシー  
交通毎日新聞社  
コーティングメディア  
国際電波貿易  
国際農業社  
ことづくりラボSTI  
コトプランニング  
サムライプレス  
三栄  
産経新聞社  
産業経済新聞社  
産業新聞社  
産業タイムズ社  
産業通信  
産報出版  
シード・プランニング  
時事通信社  
重化学工業通信社  
食品産業新聞社  
新樹社  
新農林社  
新報  
水産タイムズ社  
ストライクアンドタクティカルマガジン  
誠文堂新光社  
セレクト  
全国開拓振興協会  
総合報道  
素形材通信社  
大河出版  
中欧能楽文化協会  
中国電視  
鉄鋼新聞社  
テレビ東京  
電経新聞社  
展示会営業マーケティング  
伝導機新聞社  
電波新聞社  
電波タイムズ社  
東急メディア・コミュニケーションズ  
東京メトロポリタンテレビジョン  
東方尊貴商務服務  
東洋経済新報社  
塗装報知新聞社  
ドローントリビューン  
日刊建設工業新聞社  
日刊工業新聞社  
日刊自動車新聞社

日経BP  
日興アセットマネジメント  
日報ビジネス  
日本・社会システムラボラトリー  
日本海事新聞社  
日本経済新聞社  
日本工業出版  
日本国際放送  
日本産機新聞社  
日本テレビ放送網  
日本電気協会新聞部  
日本農民新聞社  
日本ビル新聞社  
日本物流新聞社  
日本放送協会  
ニュースダイジェスト社  
農経新報社  
ハイテックソリューションズ  
ピーアンドピービューロウ  
ピーオーピー  
広島ホームテレビ  
ファスニングジャーナル  
フォーカスインプラス  
福島民報社  
フジテレビジョン  
物流機械新聞社  
物流産業新聞社  
物流ニッポン  
ブルームバーグ・エル・ピー  
マイナビ  
名城大学  
メカニカル・テック社  
ものづくり.jp  
ものづくりレビュー  
薬事日報社  
輸送経済新聞社  
読売新聞社  
ライノス・パブリケーションズ  
ラザード・ジャパン・アセット・マネージメント  
理工出版社  
流通研究社  
ロジスティクス・パートナー  
ロボットスタート  
ワオ・コーポレーション  
ワック

※法人格略、五十音順



# 主な報道一覧

項目	内容		実施期間	
TV/ラジオ	情報ライブ ミヤネ屋 日本テレビ		2022年3月9日	
	news every. 日本テレビ			
	ひるおび! TBS			
	イット! フジテレビ			
	FNN Live News α フジテレビ			
	news TOKYO FLAG 東京メトロポリタンテレビジョン			
	ZIP! 日本テレビ			
	THE TIME, TBS			
	Nスタ TBS			
	堀潤モーニングFLAG 東京メトロポリタンテレビジョン			
	新・情報7daysニュースキャスター TBS			2022年3月12日
	第一時間 CCTV-2			2022年3月14日
正点財經 CCTB-2				
新聞袋袋袴 CCTV-14		2022年3月16日		
ABEMA Prime Abema TV				
新聞	Daily Cargo		会期前/会期中/会期後	
	オートメーション新聞			
	カーゴニュース			
	経済産業新報			
	交通毎日新聞			
	中部経済新聞			
	電波新聞			
	東日新聞			
	日刊産業新聞			
	日刊自動車新聞			
	日本医科器械新聞			
	日本海事新聞			
	日本証券新聞			
	日本物流新聞			
	農経新聞			
	東愛知新聞			
	福島民報			
	包装タイムス			
	マテリアルフロー			
	みなと新聞			
山梨日日新聞				
輸送経済				
Web	au Webポータル	YBS山梨放送	会期中/会期後	
	BIGLOBEニュース	あにぶニュース		
	Car Watch	イプロスものづくり		
	carview! カービュー	インターネットコム		
	DRONE	エキサイトニュース		
	dメニューニュース	エンタメプラス		
	e燃費	オートメーション新聞WEB		
	FNNプライムオンライン	ガジェット通信		
	GAZOO.com	カラパイア		
	GIZMODO JAPAN	グノシー		
	gooニュース	しらべえ		
	goo自動車&バイク	スポーツニュース		
	Impress watch	デイリーニュースオンライン		
	Infoseekニュース	テレビ岩手		
	ITmedia NEWS	ニコニコニュース		
	ITmediaビジネスオンライン	ニフティニュース		
	JAcorn 農業協同組合新聞	ニュートビ!		
	J-CASTニュース	ねとらば		
	KAI-YOU.net	マイナビニュース		
	KNBニュース	マビオンニュース		
	LINE NEWS	みんなの農業広場		
	livedoorニュース	めるも		
	LNEWS	レスポンス		
	LOGI-BIZ online	ロボスタ		
	Logistics Today	株式投資情報		
	mirai.Response	広テレ! Web		
	mixiニュース	財經新聞		
	modelpress	山形放送		
	MONEY TIMES	山口放送		
	MONOist	四国放送		
	msn 自動車	鹿児島読売TV		
	NEWS Collect	秋田放送		
	NewsPicks	電波新聞デジタル		
	NIB長崎国際テレビ	東洋経済オンライン		
	ORICON NEWS	南海放送		
	PC Watch	日テレNEWS24		
	PORTALFIELD News	日刊自動車新聞 電子版		
	RAB青森放送	日経XTECH		
	Techable	日経XTECH ACTIVE		
	Webモーターマガジン	日本インタビュー新聞		
	Work Master	日本海テレビ		
	Yahoo!ニュース	福島民報		
	Yahoo!ファイナンス	緑のgoo		

# ■ 主な広報・PR活動一覧

項目		数量	内容	実施期間
ポスター	A1判	3,000枚	関係メーカー、協賛団体などへ配布	2021年10月～
招待状	出展者用	70万枚	出展者に無料配布(封筒とセット)	2022年1月～
	主催者用	50万枚	主催者より送付	2022年2月～
			日刊工業新聞社主催、共催展示会の来場者	
			日刊工業新聞社主催セミナー・フォーラム参加者	
			日刊工業新聞社発行 雑誌購読者	
問合せ(TEL、FAX、E-mailなど)	2022年			
海外向け	PDF	海外出展者、海外メーカー、海外ロボット関連団体、大使館に配布	2022年	
交通広告	サイネージ		JR品川駅自由通路	2022年3月
			JR東京駅八重洲南北通路	
			東京メトロ大手町MCV単駅	
インターネット	WEB		日本ロボット工業会、日本ロボット学会など関連団体での情報発信	2022年12月～
			国際ロボット展公式Webサイト	2020年12月～
			国際ロボット展特設サイト(日刊工業新聞 電子版)	2022年1月～
			YouTube イメージCM、スペシャルインタビューの公開	2022年2月～
	SNS		ものたんSNSでの情報発信(Twitter、Instagram)	2020年12月～
			公式Instagramでの情報発信	2022年2月～
	バナー		Yahoo!JAPAN 広告(YDN)	2022年2月～
		Google 広告(GDN)		
日刊工業新聞 新聞広告	企画特集(別刷)	1回	国際ロボット展 特集	2022年3月8日
	新聞広告	5回	全段広告など各種	2020年12月～
その他新聞広告			オートメーション新聞	2022年2月
			物流新聞	
			日本産機新聞 ほか	
紙面広告	広告		日本ロボット工業会誌「ロボット」	2022年
			Sier協会 会報「JARSIA」	
			The ROBOT	2022年4月号
			新製品情報	2022年3月号
			プレス技術	2022年4月号
			機械設計	
			型技術	
		工場管理	2022年3月号	
		機械技術		
	同封			電気学会 学会誌
			日本機械学会 学会誌	
			電子情報通信学会 学会誌	
チラシ(両面・カラー)		3,000枚	日刊工業新聞社主催の各展示会で配布	会期中
E-mail 配信		17万件×7回	日刊工業新聞社主催の過去展示会来場者、セミナー参加者等へ配信	会期中
		1回	月刊マテリアルフロー	2022年3月
		1回	月刊EMC	
iREX News		WEB	特設サイトにて掲載	会期中
新聞オリコミチラシ		約130万枚×2回	新聞販売店を通じて一般世帯に配布 配布地区: 全国	会期中
プレスリリース		約2,500件	TV局、新聞社等、各マスコミへ配信	会期中

■ バナー広告

**2022国際ロボット展**  
INTERNATIONAL ROBOT EXHIBITION 2022

オンライン  
同時開催  
3/1~18

世界最大級のロボット  
トレードショー

リアル会場  
3月9日水~12日土  
10:00-17:00  
東京ビッグサイト

主催 JARA Japan Robot Association 50th Anniversary 日刊工業新聞社

ONLINE

**INTERNATIONAL ROBOT EXHIBITION 2022**

ONSITE EVENT  
@Tokyo Big Sight  
Mar.9 (Wed.) -  
Mar.12 (Sat.)

Mar.1 Tue ~  
Mar.18 Fri

One of the largest  
robot trade shows held as  
the online exhibition!

**IREX ONLINE**

Organized by  
Japan Robot Association (JARA) 50th Anniversary The Nikkan Kogyo Shinbun

**2022国際ロボット展**  
INTERNATIONAL ROBOT EXHIBITION 2022

オンライン  
同時開催  
3/1~18

世界最大級のロボット  
トレードショー

リアル会場  
2022年3月9日水~12日土  
10:00-17:00 東京ビッグサイト

主催 JARA Japan Robot Association 50th Anniversary 日刊工業新聞社

ONLINE

**INTERNATIONAL ROBOT EXHIBITION 2022**

ONSITE EVENT  
@Tokyo Big Sight Mar.9 (Wed.) -12 (Sat.)

Mar.1 Tue ~  
Mar.18 Fri

One of the largest  
robot trade shows held  
as the online exhibition!

**IREX ONLINE**

Organized by  
Japan Robot Association (JARA) 50th Anniversary The Nikkan Kogyo Shinbun

■ プレスリリースの発行

**PRESS RELEASE**

報道機関各位 2022年3月1日  
(一社) 日本ロボット工業会  
日刊工業新聞社

**2022国際ロボット展**  
INTERNATIONAL ROBOT EXHIBITION 2022

ロボットがつかなく人に優しい社会

**3月9日(水)~12日(土)**  
産業用からサービス用まで最新のロボットが一堂に！  
世界最大規模のロボット展示、リアルとオンラインのハイブリッド開催

(一社) 日本ロボット工業会と日刊工業新聞社は、2022年3月9日(水)~12日(土)の4日間、東京ビッグサイトで「ロボットがつかなく人に優しい社会」をテーマに、「2022 国際ロボット展 (IREX2022)」を開催します。

本会は、2年一週開催する世界最大規模のロボット専門展として、今回で24周年を迎えます。今年度は、45社・団体、3,227小間(前年43社・団体1,000小間)での開催となります。

会場は、東京ビッグサイトの東1~8ホールと西3、4ホールを併し、用途が拡大する産業用ロボットの最新システムや駆動機器の展示のほか、コロナ禍でも活躍するサービスロボットなどが多数展示されます。

今回は新たに「部品供給装置ゾーン」「マテハン・ロボットゾーン」を新設し、パーツフィードなどの供給システムや搬送装置で活躍する最新のロボットシステムを展示します。

講演・フォーラムでは、前日「IREXロボットフォーラム2022」を開催し、次世代ロボットメーカーとユーザーを繋ぎ、ロボット導入の最新動向や最新事例での実証の報告を行います。

また、国際ロボット展では、リアル会場への来場が難しい方のため、初のオンライン展示会「IREX 2022」を2022年3月1日(水)~18日(土)に開催します。

オンライン会場での展示やオンライン会場限定の講演・ウェビナーもあり、見どころ満載です。ハイブリッド開催(リアル会場・オンライン会場を併用開催)によりより多くの情報を発信していきます。

ぜひ貴社様にて、「2022 国際ロボット展」をご観覧いただけることを幸いです。

【お問い合わせ先】  
「国際ロボット展」PR事務局  
(東京ビッグサイト)  
受付時間: 10:00~17:00(土日祝祭日)  
TEL: 060-818-7661  
E-mail: irex@prbiz.jp

【プレス登録について】  
取材に当たり、「国際ロボット展」公式Webサイトより、「プレス登録」を行ってください。  
※当日、東京ビッグサイトの受付カウンターへお越しください。  
※当日はコロナウイルス感染予防対策として、前夜お申し込みとなります。  
※お問い合わせ先は上記のとおりです。

〇プレス登録はこちら <https://biz.nikkan.co.jp/form/irex/2022/press/>

**IREX ONLINE**

日本語版

**PRESS RELEASE**

Mar.2 (Wed.), 2022  
Japan Robot Association  
The Nikkan Kogyo Shinbun

**2022国際ロボット展**  
INTERNATIONAL ROBOT EXHIBITION 2022

The way towards a friendlier society, bridged by robots

**Mar.9 (Wed.)-12(Sat.), 2022**

The latest robots, from industrial to service, under one roof!  
The world's largest class robot specially hybrid exhibition will be held

Japan Robot Association and The Nikkan Kogyo Shinbun will hold the International Robot Exhibition 2022 at Tokyo Big Sight from March 9 (Wed.) to March 12 (Sat.) 2022 with the theme "The way towards a friendlier society, bridged by robots". The world's largest class robot trade fair as the biennial event will be the 24th time.

The International Robot Exhibition 2022 (IREX2022) will be held with the number of 45 companies and organizations and 3,227 booths (IREX2019: 43 companies and organizations, 3,000 booths).

This year's exhibition will be held in East 1-8 halls and West 3-4 halls of Tokyo Big Sight. In addition to exhibiting the latest systems and related equipment for industrial robots which has been increased to use, many service robots which are also active in COVID-19 pandemic will be exhibited. Besides, "Material Handling - Robot Zone" and "Parts Feeder Zone" will be newly added, and the latest robot systems that are active in the logistics industry such as supply systems and parts feeders will be exhibited.

Regarding Forums and Seminars, "IREX Robot Forum 2022" will be held on the Day-1 to explore the latest trends about robot introduction and possibilities in new fields by leading robot manufacturers and users. In addition, various forums and exhibitor seminars will be held every day.

For those who are difficult to visit on-site exhibition, "IREX 2022 ONLINE" will also be held. IREX 2022 ONLINE contains introduction of exhibit producer services and streaming webinars. The online venue will be full of highlights, including exhibitors only available at the online venue, and webinars limited to the online venue. We will provide more information by holding a hybrid event (on-site and online). In addition, information will be available in both Japanese and English, and visitors are able to access 24 hours from all over the world.

We would greatly appreciate your assistance in publicizing the International Robot Exhibition 2022.

【Inquiries during the event】  
International Robot Exhibition PR Center  
(within Fullhouse Inc.)  
Hours: 10:00~17:00 (weekdays only)  
TEL: +81(0)6-818-7661  
E-mail: irex@prbiz.jp

【Press registration】  
Please go to the official web site of the International Robot Exhibition to register as a member of the press.  
On the day of the exhibition, please come to the press desk in East Hall 2. In order to prevent the spread of the new coronavirus, advance registration is required.

Press registration - [https://biz.nikkan.co.jp/form/irex/2022/press\\_en/](https://biz.nikkan.co.jp/form/irex/2022/press_en/)

**IREX ONLINE**

英語版

■ 交通広告



JR東京駅 (八重洲口ビジョン)



JR品川駅 (自由通路ビジョン)



東京メトロ (大手町全線ビジョン)

# 告知広告 / PR ツール

ロボットがつなく人に優しい社会



リアル/オンライン 入場登録受付中!

## 2022国際ロボット展

INTERNATIONAL ROBOT EXHIBITION 2022

リアル会場 | 2022年3月9日(金)~12日(日) 10:00-17:00  
東京ビッグサイト 東1-8ホール/西3-4ホール

オンライン会場 | 2022年3月1日(火)~18日(金)

主催 | 日本ロボット工業会 Japan Robot Association | 日刊工業新聞社 | 入場料 1,000円 (小学生以下は無料)

本展示会は完全登録制です。入場登録はこちらから!!

公式ウェブサイト <https://biz.nikkan.co.jp/eve/irex/>

日刊工業新聞 全15段広告

## 2022国際ロボット展

INTERNATIONAL ROBOT EXHIBITION 2022

ロボットがつなく人に優しい社会

本展示会は完全登録制です。入場登録はこちらから!!

二年に一度、世界最大級のロボット・トレードショー

過去最大規模の開催!  
615社 3,227小間

リアル会場 | 2022年3月9日(金)~12日(日) 10:00-17:00  
東京ビッグサイト 東1-8ホール/西3-4ホール

オンライン会場 | 2022年3月1日(火)~18日(金)

主催 | 日本ロボット工業会 Japan Robot Association | 日刊工業新聞社 | 入場料 1,000円 (小学生以下は無料)

公式ウェブサイト <https://biz.nikkan.co.jp/eve/irex/>

日刊工業新聞 全5段広告

## 2022国際ロボット展

INTERNATIONAL ROBOT EXHIBITION 2022

ロボットがつなく人に優しい社会

リアル/オンライン 入場登録受付中!

2022年3月9日(金)~12日(日) 10:00-17:00  
東京ビッグサイト 東1-8ホール/西3-4ホール

2022年3月1日(火)~18日(金)

本展示会は完全登録制です。入場登録はこちらから!!

主催 | 日本ロボット工業会 Japan Robot Association | 日刊工業新聞社 | 入場料 1,000円 (小学生以下は無料)

公式ウェブサイト <https://biz.nikkan.co.jp/eve/irex/>

日刊工業新聞 半5段広告

招待状

ロボットがつなく人に優しい社会

## 2022国際ロボット展

INTERNATIONAL ROBOT EXHIBITION 2022

リアル会場 | 2022年3月9日(金)~12日(日) 10:00-17:00  
東京ビッグサイト 東1-8ホール/西3-4ホール  
入場料: 1,000円 (入場登録者、中学生以下は無料)

オンライン会場 | 2022年3月1日(火)~18日(金)

主催 | 日本ロボット工業会 Japan Robot Association | 日刊工業新聞社

招待状 (日本語)

INVITATION

The way towards a friendlier society, bridged by robots

## iREX<sup>®</sup> 2022

INTERNATIONAL ROBOT EXHIBITION

Held as a hybrid exhibition [Onsite x Online]!

Organized by | Japan Robot Association (JARA) | The Nikkan Kogyo Shinbun

Date | Mar. 9<sup>th</sup> - 12<sup>th</sup> Sat 2022 10:00-17:00

Venue | Tokyo Big Sight, East 1-8 Halls/ West 3-4 Halls

Admission fee: JPY 1,000 (Free admission for pre-registrants, Under junior high school students)

招待状 (英語)

ロボットがつなく人に優しい社会



## 2022国際ロボット展

INTERNATIONAL ROBOT EXHIBITION 2022

リアル・オンラインでのハイブリッド開催!

リアル会場 | 2022年3月9日(金)~12日(日) 10:00-17:00  
東京ビッグサイト

オンライン会場 | 2022年3月1日(火)~18日(金)

主催 | 日本ロボット工業会 Japan Robot Association | 日刊工業新聞社

公式ウェブサイト <https://biz.nikkan.co.jp/eve/irex/>

ポスター (日本語)

The way towards a friendlier society, bridged by robots



## INTERNATIONAL ROBOT EXHIBITION 2022

Held as a hybrid exhibition [Onsite x Online]!

Onsite | Date | Mar. 9<sup>th</sup> - 12<sup>th</sup> Sat 2022 10:00-17:00  
Venue | Tokyo Big Sight

Online | Date | Mar. 1<sup>st</sup> - 18<sup>th</sup> Fri 2022

Organized by | Japan Robot Association (JARA) | The Nikkan Kogyo Shinbun

Official Website <https://biz.nikkan.co.jp/eve/irex/>

ポスター (英語)



## 2022国際ロボット展

### INTERNATIONAL ROBOT EXHIBITION 2022



ロボットが  
つなぐ人  
に優しい  
社会

#### Index

- 2面 日本ロボット工業会会長あいさつ/国際ロボット展みどころ
- 3面 深層予測学習と実ロボットによる身体知の実現
- 4面 異種ロボットネットワークによる社会支援と人材育成
- 5面 有力企業の製品・技術
- 6面 進む!ロボットフレンドリーな環境整備
- 7面 有力企業の製品・技術
- 8面 ロボットSier認知度向上の取り組み
- 9~11面 有力企業の製品・技術
- 12面 会場レイアウト/併催事業

来場前の予習、来場後の振り返り&情報共有に

**ロボ展**

特設サイト

- ✓ロボ展みどころ
- ✓関連ニュース、特集記事、動画
- ✓注目の出展企業、製品紹介



日本ロボット工業会と日刊工業新聞社が共催する「2022国際ロボット展」が9日から12日までの4日間、東京ビッグサイトで開催される。産業用ロボット、サービスロボット、応用システム、要素機器などが一堂に集結する世界最大規模のロボット専門展だ。「マテハン・ロボットゾーン」と「部品供給装置ゾーン」を新設し、615社・団体、3227小間が出展する。今回は初めてオンライン会場も設け、18日まで開催している。



© UEDAGAWA YASUKIHO 1998

#### リアル会場

3/9日 ▶ 12日 10:00 ▶ 17:00  
東京ビッグサイト 東1~8ホール/西3・4ホール

#### オンライン会場

3/1日 ▶ 18日

## 日刊工業新聞

THE NIKKAN  
KOGYO SHIMBUN

### 第2部

3月8日 火曜日

2022年(令和4年)

国際ロボット展

**CKD**  
Automation Technology  
for the Future

東1ホール E1-12

リアル会場&  
オンライン会場  
入場登録はこちら



3月8日付 第2部 2022国際ロボット展特集 1面

# 進むデジタル化、新たな変革期へ



実演やプレゼンテーションを交え最先端技術が紹介される



会期中は多数の併催事業が行われる

「2022国際ロボット展」は、日本ロボット工業会(日ロ協)と日刊工業新聞社が共催する。今年も、最先端のロボット技術や産業用ロボット、サービスロボット、応用システム、要素機器などが一堂に集結する。また、「マテハン・ロボットゾーン」と「部品供給装置ゾーン」を新設し、615社・団体、3227小間が出展する。今回は初めてオンライン会場も設け、18日まで開催している。

### 生産性向上、付加価値を創出

昨今のデジタル化・自動化の進展は、生産性向上に大きく貢献している。特に、産業用ロボットは、生産現場での作業を自動化し、生産性を向上させる。また、サービスロボットは、接客や案内などの業務を自動化し、顧客体験を向上させる。さらに、応用システムは、業務プロセスを最適化し、コスト削減を実現している。これらの技術の活用により、企業は生産性向上と付加価値創出を実現している。

### 部品供給装置

#### マテハン・ロボット

#### 2ゾーン新設

「マテハン・ロボットゾーン」と「部品供給装置ゾーン」を新設し、最先端の技術を紹介する。マテハン・ロボットは、材料搬送や組立作業などに活用される。部品供給装置は、生産現場での部品供給を自動化し、生産性を向上させる。これらの技術の活用により、企業は生産性向上と付加価値創出を実現している。

### 小笠原 浩

#### 日本ロボット工業委員長

「人に優しい社会」の形を示す。ロボットは、人の代わりに危険な作業や単純な作業を行うことで、労働環境を改善し、安全な社会を実現する。また、高齢者の介護や障害者の支援に活用されることで、社会の持続可能性を高める。ロボットは、人に優しい社会を実現するための重要な技術である。

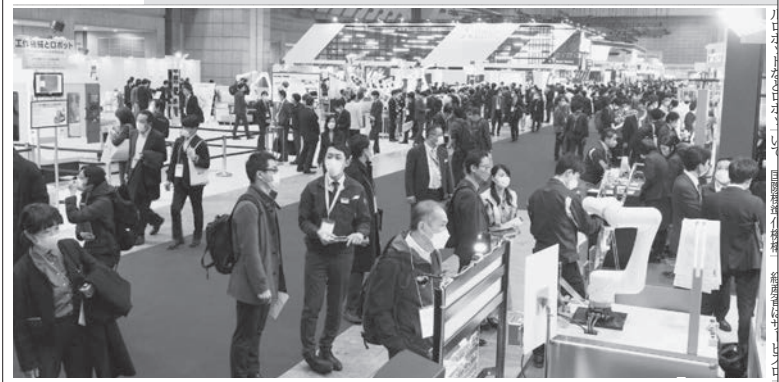
### 「人に優しい社会」の形を示す

「人に優しい社会」を実現するために、ロボットは重要な役割を果たす。ロボットは、人の代わりに危険な作業や単純な作業を行うことで、労働環境を改善し、安全な社会を実現する。また、高齢者の介護や障害者の支援に活用されることで、社会の持続可能性を高める。ロボットは、人に優しい社会を実現するための重要な技術である。

3月8日付 第2部 2022国際ロボット展特集 2面







## 自動化新常态 — 国際ロボ展開幕

世界最大級のロボット見本市「2022国際ロボット展」(日本ロボット工業会、日刊工業新聞社主催)が9日、東京ビッグサイト(東京都江東区)で開幕した(写真)。最新技術を含んだ産業用ロボットをはじめ多様な自動化設備が並ぶ。24回目となる今回は615社・団体が3227小間出展した。小間数では過去最大規模の開催となる。リアル展の会期は12日まで。

主催者である日本ロボット工業会の小笠原浩会長(安川電機社長)は「変異株のオミクロンやウクライナ問題、部品不足など暗いニュースが多いが、先陣切っ産

業を盛り上げたい。ニューノーマル(新常态)における自動化設備を見せる」と意気込みを示した。

山口賢治2022国際ロボット展運営委員長(ファナック社長)は「前回(19年)の国際ロボット展後、コロナ禍に入り、展示会は中止やオンライン開催になった。過去2年間の開発の成果を示せる場にした」と期待した。同展に平行してオンライン展示会を18日まで開催する。(3・7・9・11・20・最終面に関連記事)



3月10日付 1面

### ロボ・AIで新たな日常

新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)は10日、東京・有明の東京ビッグサイトで開催中の2022国際ロボット展「NEDOロボット・AIフォーラム2022」を開いた。「人とロボットが拓く新たな日常」をテーマに、NEDO担当者がロボットやAI知能(人工知能)に関する最新の技術開発の取り組みの紹介、約300人が参加し、開発内容や課題への理解を深める。③

#### NEDOがフォーラム 最新技術を紹介

8面(関連記事) NEDOの西村知事(左)は、配管作業の自動化に関する最新技術について、安全・安心に生活や業務をこなす上で、ロボットやAIの活用が重要だと強調している。と、ウイニコナ・インターロコナ素だと呼びかけた。

NEDOの西村知事(左)は、配管作業の自動化に関する最新技術について、安全・安心に生活や業務をこなす上で、ロボットやAIの活用が重要だと強調している。と、ウイニコナ・インターロコナ素だと呼びかけた。

3月11日付 2面

### 物流・工場を自動化

### 省力化ロボ

## 人材難時代に即戦力

### 人が操る双腕重機

FA分野も物流同様、人手不足に加え、米中対立などで主要部品供給の不安定化の動きが強まっている。「新開発などで多品種対応の重要性が高まり、電気自動車(EV)開発も追い風になっている」(Mujin)。

日本工業人は同じような悩みを抱えている。7月に定例サービスを始めると、国内向け自動搬送用EVも披露。長年販売実績があるゴルフカートをベースとし、工場環境などで運転手に頼らない自動運転(レベル4)ができる。床下スペースを有効活用できる無人搬送車「COW-e1」もアピールする。

前後、左右、斜め全方向移動

斜めの移動を実現。同ユニットは数回キャスターを電動化したもので、二つのモーターの回転差によって車輪の回転と操縦(そりた)を実現した。前後全方向移動が可能でカメラナビゲーションと異なり、振動や音を低減できる。

ヤマハ発動機は「ミクソン・トルク・キョメトル」をテーマに多様な自動搬送提案をする。アイアオー(名古屋市中村区)と共同開発し、7月に定例サービスを始めると、国内向け自動搬送用EVも披露。長年販売実績があるゴルフカートをベースとし、工場環境などで運転手に頼らない自動運転(レベル4)ができる。床下スペースを有効活用できる無人搬送車「COW-e1」もアピールする。

3月10日付 7面

### ロボを取り巻く周辺技術

### 遠隔制御

### 予防保全

## 総菜盛りつけ AIが指示

## 16軸制御 コントローラー

### 脱炭素にも配慮

ロボットの自動化を進め、現場の働き方を変え、安全・安心に生活や業務をこなす上で、ロボットやAIの活用が重要だと強調している。と、ウイニコナ・インターロコナ素だと呼びかけた。

総菜盛りつけ AIが指示 16軸制御 コントローラー

脱炭素にも配慮

三電電機はタブレットや音声で簡単にロボットの指示作業を実現する様子を実演している。空席は、三電電機の派手なロボット「ロボティクス」が、ロボットを空席に誘導し、乗客の乗降を支援する様子を実演している。

3月11日付 8面



# オンラインサイト

■公式サイト (<https://biz.nikkan.co.jp/eve/irex/>)

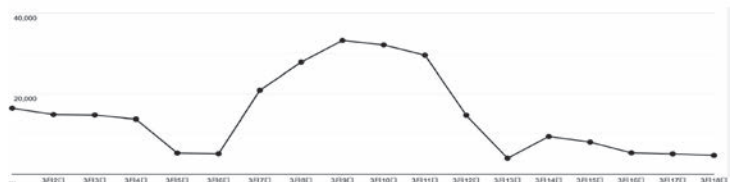


■ iREX ONLINE サイト (<https://irex.nikkan.co.jp/>)



会 期: 2022年3月1日 (火) ~ 3月18日 (金)  
入場料: 無料 (登録制)

■アクティブユーザー数: 194,352  
■ページビュー: 11,045,809PV



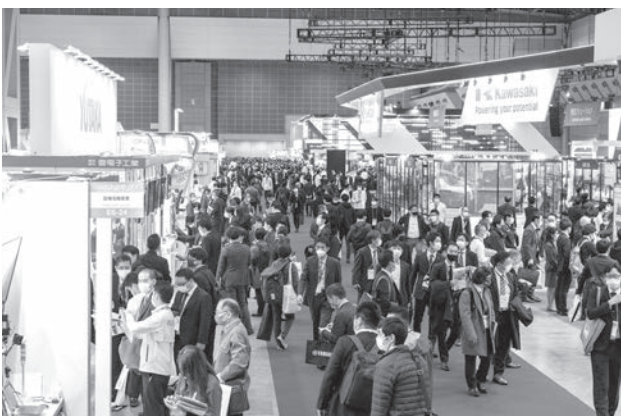
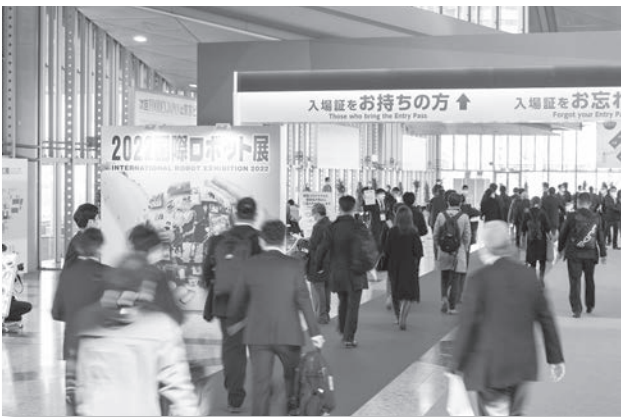
※参考出典: Google アナリティクス ([www.irex.nikkan.co.jp](http://www.irex.nikkan.co.jp))

■特設サイト (<https://biz.nikkan.co.jp/brand/irex/2022/>)





# 会場風景



## 次回開催告知

# 2023国際ロボット展

- 会 期：2023年 11月下旬～12月上旬（予定）
- 会 場：東京ビッグサイト 東・西ホール

結果報告書ならびに次回開催等のお問い合わせは下記まで

 **日刊工業新聞社**

総合事業局 イベント事業部

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町 14-1  
TEL.03-5644-7220 FAX.03-5641-8321